

Adobe® 純正 PostScript® 3™ 対応ソフトウェア RIP

Raster Link Pro

ラスターリンクプロ

リファレンスガイド
GP-1810/GP-1810D 編
DM2-1810 編
DM3-1810S 編

カラーインクジェットプリンタ “GP-1810/GP-18410D/DM2-1810/DM3-1810S” 用の Raster Link Pro の機能について説明しています。



Adobe® PostScript® 3™

マニュアルの種類と使い方

本装置には、次の説明書が付属しています。

インストールガイド

次の事に関して説明をしています。

- ・ Raster Link Pro をインストールするための PC (Windows 2000, Windows XP) の設定
- ・ クライアント PC へのプリンタドライバーのインストールと設定方法

リファレンスガイド

各プリンタ共通編と各プリンタ編(本説明書)に分かれて機能および操作方法など、Raster Link Pro を使用していく上で必要な設定項目について説明しています。お使いのプリンタに合わせたリファレンスガイドをお読みください。

今読んでいる
説明書です。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります、ご了承ください。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとする。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とする。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとする。

この取扱説明書について

本書は、カラーインクジェットプリンタ“GP-1810/GP-1810D/DM2-1810/DM3-1810S”に作図するための“Raster Link Pro”の取り扱いについて説明しています。GP-1810/GP-1810DおよびDM3-1810Sをお使いの方は、表記中のDM2-1810の名称を置き換えてお読みください。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“プリント編集待ち”のように“”でくくっていません。

ダイアログに表示されているボタンは、設定終了のようにでくくっていません。

マークについて



操作を行う上で、注意する点を説明しています。



知っていると便利な事について説明しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

目次

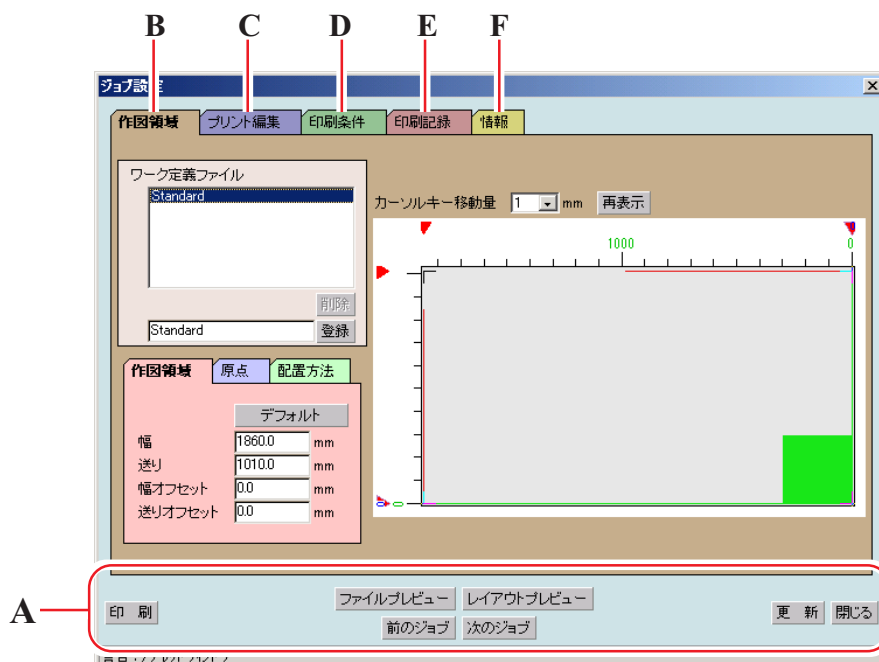
マニュアルの種類と使い方	2
ご注意	3
この取扱説明書について	4
本文中の表記について	4
マークについて	4
“ジョブ設定” ウィンドウ	6
メニュー別設定項目	6
共通ボタン	7
[作図領域] メニュー	9
プリントエリアビュー	10
[作図領域]サブメニュー	12
作図領域の設定	13
[原点]サブメニュー	14
キーボードによる原点の移動	15
[配置方法]サブメニュー	16

ワーク定義ファイルの登録	18
ワーク定義ファイルの選択	19
ワーク定義ファイルの削除	19
[プリント編集]メニュー	20
[配置] サブメニュー	20
キーボードによる画像の移動	22
[オプション]サブメニュー	23
ネスティングコピーをする際の注意事項	24
[印刷条件]メニュー	25
[印刷モード]サブメニュー	26
[印刷調整セット]サブメニュー	28
[カラーマッチング]サブメニュー	30
[デバイス調整]サブメニュー	32
カラー調整について	34
“色調整” ウィンドウ	34
印刷調整セットを作成する	36
印刷調整セットを使用して印刷する	38
印刷中にカラー調整を行うには	40
より詳細にカラー調整をするには（インクカーブ）	43
インクカーブを調整して印刷	47
キーボードによるインクカーブの設定	50
[印刷記録]メニュー	52
[情報]メニュー	54
“ジョブ情報” ウィンドウ	55
[結果]メニュー	55
[デバイス調整]メニュー	57
印刷したデータの再印刷	58
device 機能について	60
device ウィンドウ	60
印刷条件の初期値設定	61
索引	63

“ジョブ設定” ウィンドウ

Raster Link Pro の設定項目は、いくつかのメニューに分かれています。
ここでは、それぞれのメニューの説明と機能の使い方を説明しています。

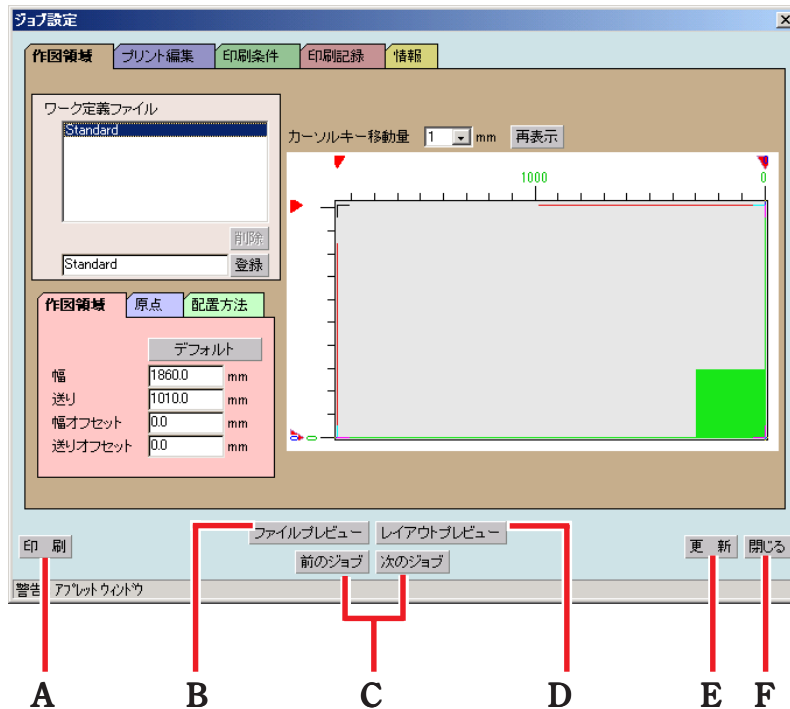
メニュー別設定項目



- A. 共通ボタン P. 7
- B. [作図領域]メニュー P. 9
- C. [プリント編集]メニュー P. 20
- D. [印刷条件]メニュー P. 25
- E. [印刷記録]メニュー P. 52
- F. [情報]メニュー P. 54

共通ボタン

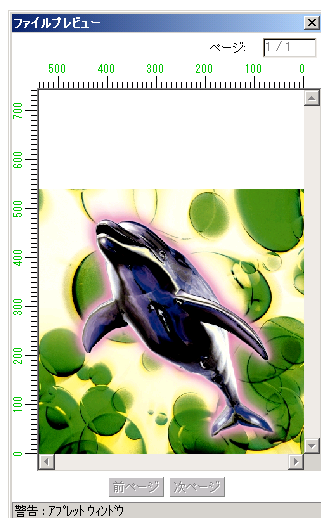
ここで説明するボタンは、各メニュー共通で使用できます。



A. 印刷 ボタン

“ジョブ設定” ウィンドウで設定した値を保存して、印刷を開始します。

B. ファイルプレビュー ボタン



ファイルプレビューウィンドウを表示します。

ファイルプレビューウィンドウでは、印刷ファイル自体のプレビュー画像を表示します。ページが複数ある場合は、右上に“現在のページ／総ページ”を表示します。

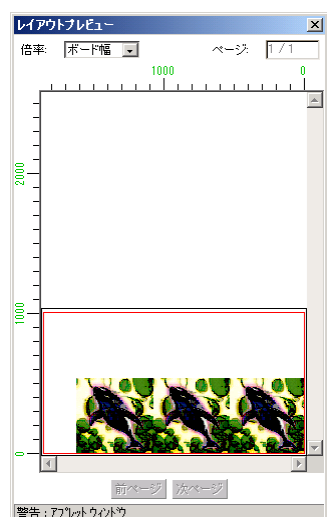
この場合、前ページ ボタン、または次ページ ボタンをクリックしてページを切り換えることができます。

C. **前のジョブ** **次のジョブ** ボタン

“プリント編集待ち” ジョブリストにある前後のジョブ (印刷ファイル) を選択します。

選択したジョブの“ジョブ設定” ウィンドウを表示します。

D. **レイアウトプレビュー** ボタン



レイアウトプレビューウィンドウを表示します。“ジョブ設定” ウィンドウで設定した値を反映して実際の印刷イメージを表示します。

“ジョブ設定” ウィンドウで値を変更した場合、**レイアウトプレビュー** ボタンを押してプレビューを確認してください。

表示倍率は、ボード幅または作図領域を元に表示できます。

ページが複数ある場合は、右上に“現在のページ/総ページ”を表示します。

この場合、**前ページ** ボタン、または **次ページ** ボタンをクリックしてページを切り換えることができます。

E. **更新** ボタン

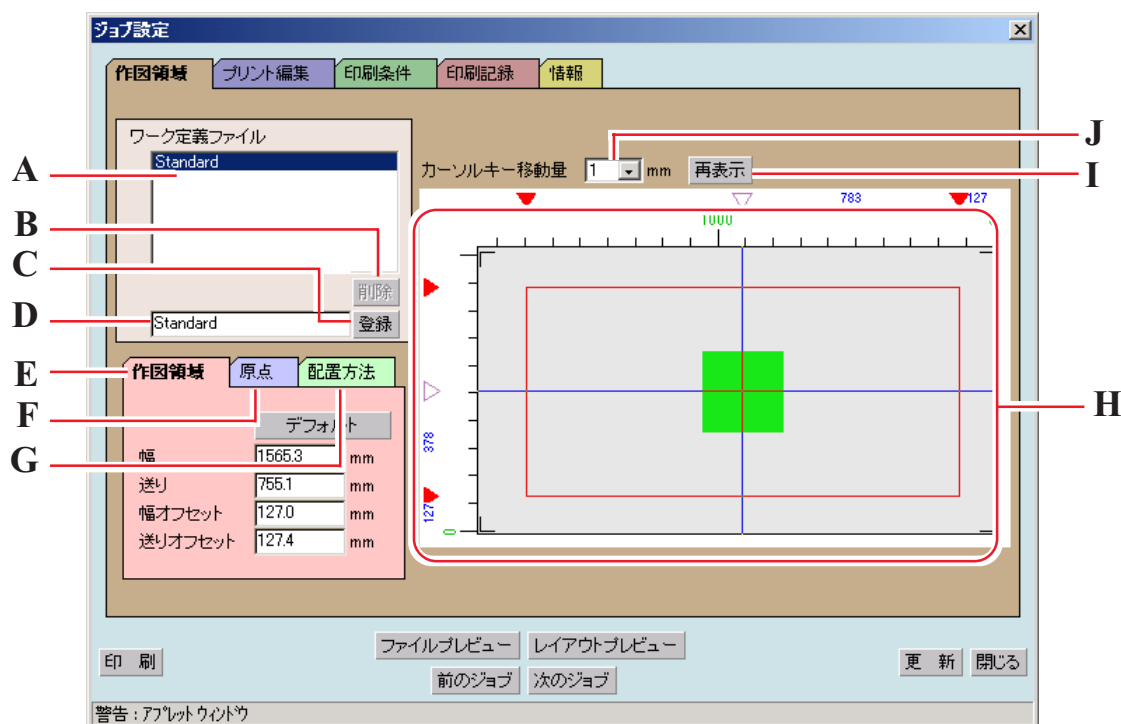
“ジョブ設定” ウィンドウで設定した値を保存します。

F. **閉じる** ボタン

“ジョブ設定” ウィンドウを閉じます。

[作図領域] メニュー

有効作図領域に関する設定を行います。



A. ワーク定義ファイル

登録されているワーク定義ファイルを表示します。

ワーク定義ファイルとは、[作図領域]、[原点]、および[配置方法]サブメニューで設定した値を名前を付けて登録したファイルです。

印刷をする場合は、ワーク定義ファイルを選択する必要があります。

(☞ P. 18)

B. 削除 ボタン

ワーク定義ファイルを削除します。

C. 登録 ボタン

新規にワーク定義ファイルを登録します。また、登録済みのワーク定義ファイルの設定条件を変更して上書きできます。

D. ワーク定義ファイル名入力ボックス

現在選択されているワーク定義ファイル名を表示します。新規に登録する場合は、新しいファイル名を入力します。



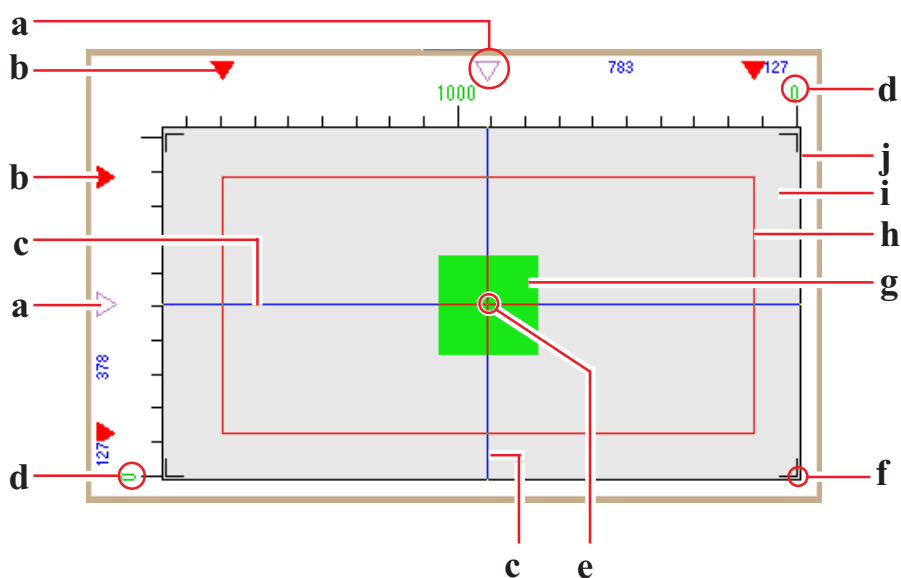
注意

● ワーク定義ファイル名に下記の文字は使用できません。





“ / ¥ : ; | , * ? < > . &

- E. [作図領域] サブメニュー
作図領域を設定します。(☞ P. 13)
- F. [原点] サブメニュー
作図領域上に原点を設定します。(☞ P. 14)
- G. [配置方法] サブメニュー
原点に対する画像の配置方法を設定します。(☞ P. 16)
- H. プリントエリアビュー
[作図領域] メニューで設定した内容を表示します。(☞ P. 10)
- I. 再表示 ボタン
設定中に消えた作図領域の線などを再表示します。
- J. カーソルキー移動量
キーボードの矢印キーを押して原点の位置を移動するときの単位を選択します。(☞ P. 15)

プリントエリアビュー

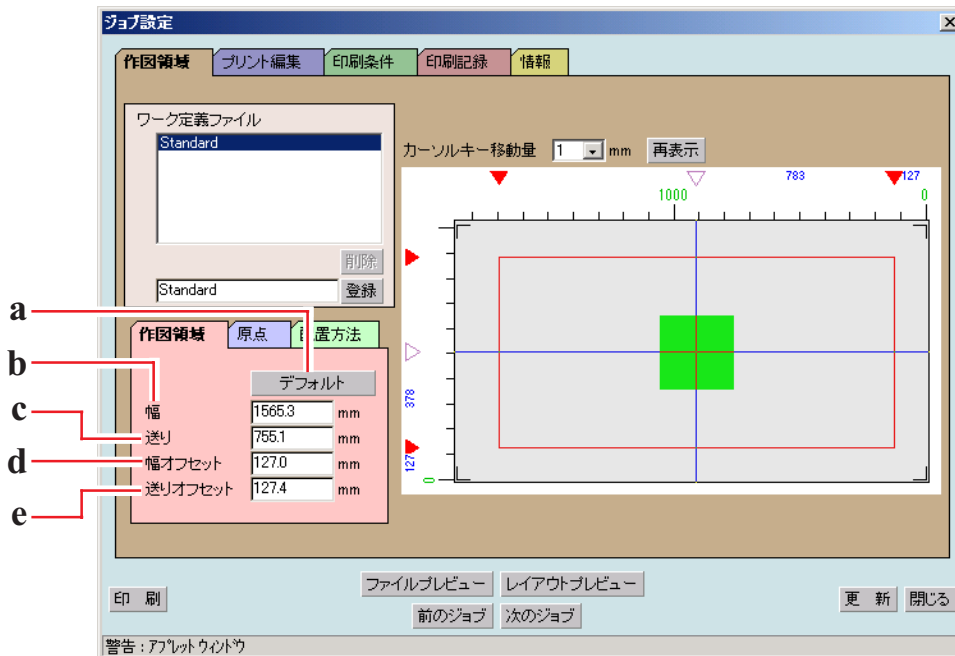


- a. 原点ガイド
原点ガイドライン（青）を移動する場合にドラッグします。

- b. 作図領域の端面
4 個の  マークで作図領域の境界を示します。
- c. 原点ガイドライン
縦の青いガイドラインと横の青いガイドラインの交点が原点です。
- d. 最大作図エリアの先端
DM2-1810 の最大作図エリアの先端を 0 で表示します。
- e. 原点
画像を配置するための原点を 2 本の青いガイドラインの交点で示します。
( P. 14)
- f. DM2-1810 初期原点
DM2-1810 の電源を入れた時に設定される初期原点です。
- g. 画像の配置方法
原点との画像の配置方法を示します。
実際の画像のサイズを表すものではありません。また、画像の正確な配置位置を表すものでもありません。
画像サイズを確認する場合は、[プリント編集]メニューの配置ビューで確認できます。( P. 20)
- h. 有効作図エリア
[作図領域] サブメニューで設定した作図領域を赤い矩形で表示します。
( P. 13)
赤い矩形内をマウスでドラッグすることにより、DM2-1810 のテーブル上 - の任意の位置に作図エリアを配置できます。
- i. DM2-1810 の最大作図エリア
四隅の「」マークで囲まれたエリアが DM2-1810 の最大作図エリアです。
- j. DM2-1810 のテーブル
DM2-1810 のテーブルを示します。

[作図領域]サブメニュー

DM2-1810のテーブル上に有効作図領域を設定します。



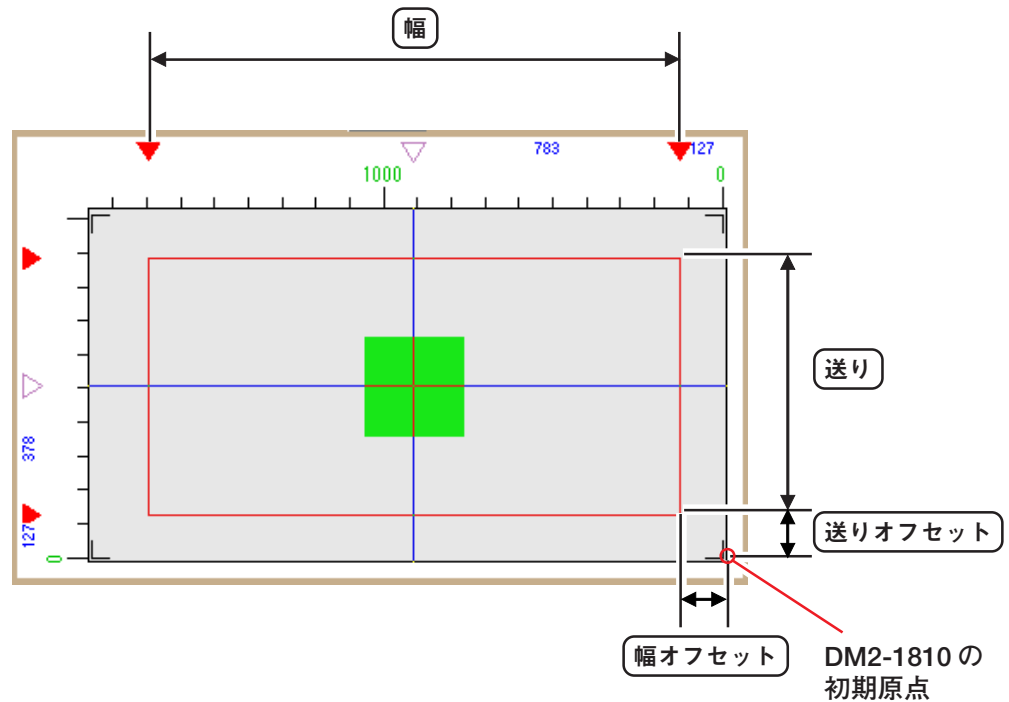
- a. **デフォルト** ボタン：
作図領域を最大に設定し、原点の位置を DM2-1810 の初期原点の位置に設定します。
- b. **幅**：
作図領域の幅を入力します。
- c. **送り**：
作図領域の高さを入力します。
- d. **幅オフセット**：
DM2-1810 の原点から幅方向への移動距離を入力します。
- e. **送りオフセット**：
DM2-1810 の原点から送り方向への移動距離を入力します。

作図領域の設定

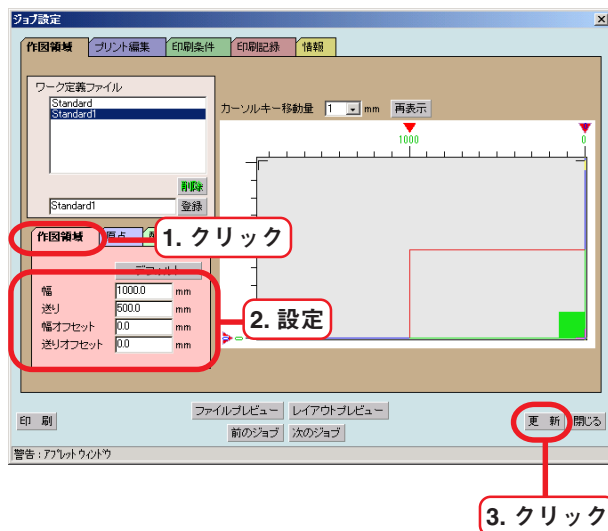
作図領域は、赤い矩形で表示します。

作図領域からはみ出した画像は、印刷しません。

ただし、ネスティングを設定したコピーの場合は、作図領域の送り方向にはみ出した画像も印刷します。



1



[作図領域] サブメニューをクリックします。

作図領域の寸法および配置位置を入力します。



- ・赤い矩形の四隅をマウスでドラッグしても作図領域のサイズを変更できます。
- ・作図領域内をマウスでドラッグすると、配置位置を移動することができます。

デフォルト ボタンをクリックすると、プリンタの最大作図領域に設定します。

更新 ボタンをクリックします。

[原点]サブメニュー

画像を配置するための基準となる原点を設定します。

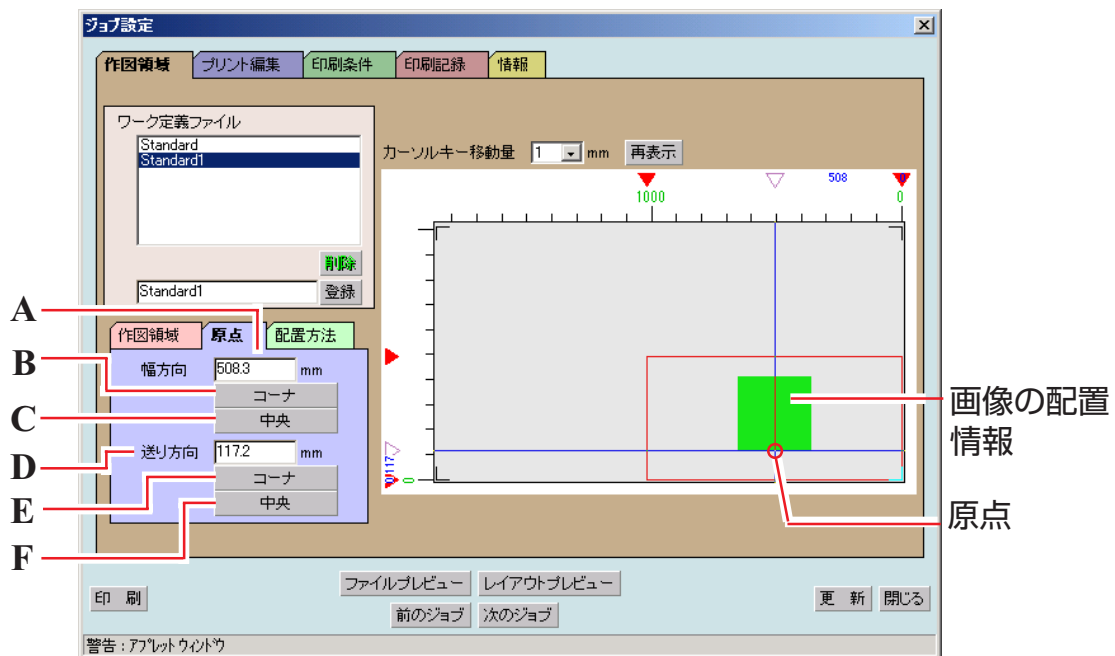
印刷位置の微調整は、[プリント編集]メニューの[配置]サブメニューで設定します。

( P. 20)

よって、ここでは、正確な印刷位置に原点を設定する必要はありません。

2本の青いガイドラインの交点が原点になります。

原点の位置は、作図領域の右下隅からのオフセットを幅方向および高さ方向に対して設定します。



- A. 幅方向：
作図領域右下隅から幅方向へのオフセット量を入力します。
- B. 幅: ボタン
原点を作図領域の幅方向の右端に配置します。
- C. 幅: ボタン
原点を作図領域の幅方向の中央に配置します。
- D. 送り方向：
作図領域右下隅から高さ方向へのオフセット量を入力します。
- E. 送り方向: ボタン
原点を作図領域の先端に配置します。

F. 送り方向: **中央** ボタン

原点を作図領域の高さ方向の中央に配置します。

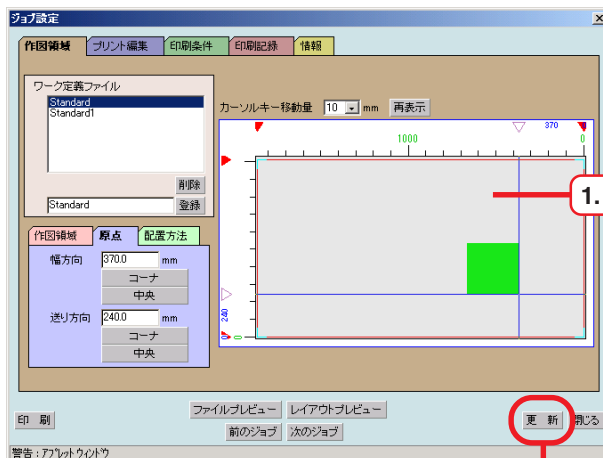
キーボードによる原点の移動

1



“カーソルキー移動量”でキーボードの矢印キーを押したときの移動量を選択します。

2



作図領域内をマウスでクリックし、プリントエリアビューをアクティブにします。

プリントエリアビューの枠が青く変わります。

キーボードのTab キーを数回押しても配置ビューをアクティブにできます。

キーボードの矢印キーを押して原点を移動します。

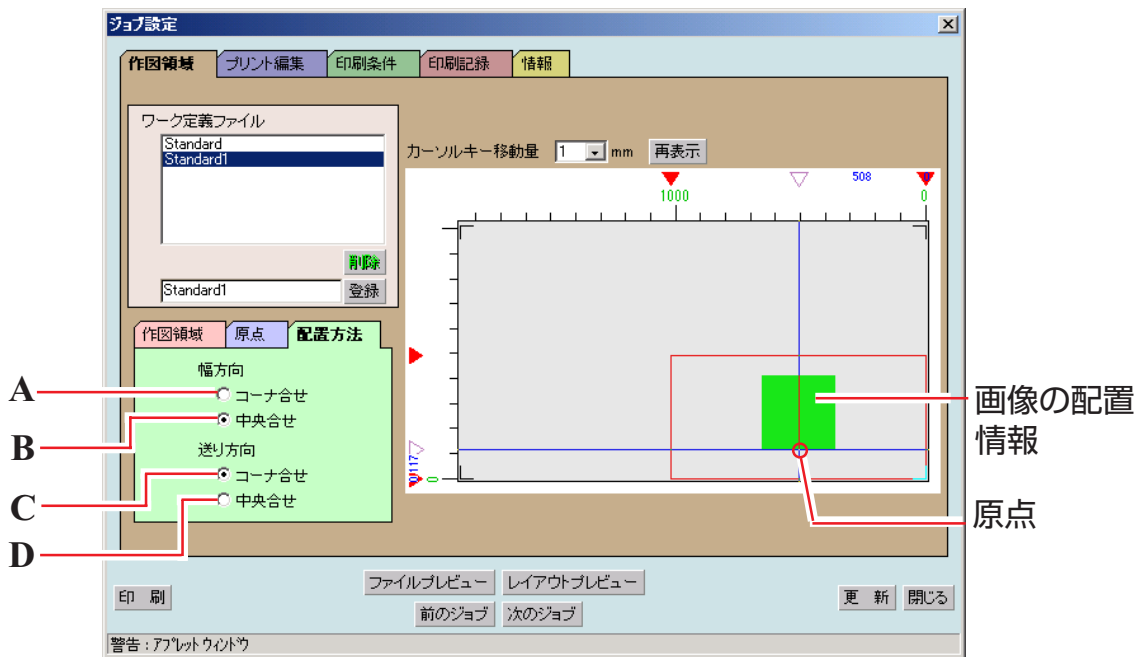
更新 ボタンをクリックします。

[配置方法]サブメニュー

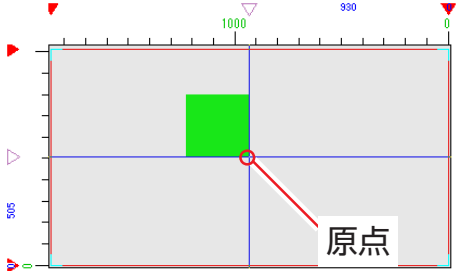
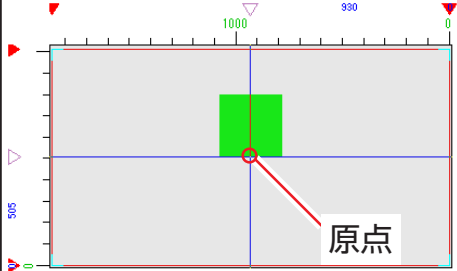
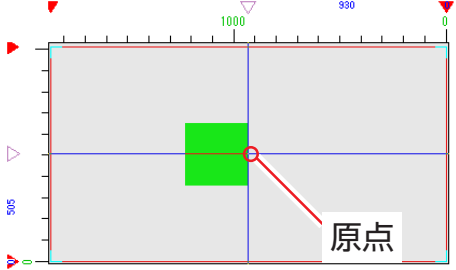
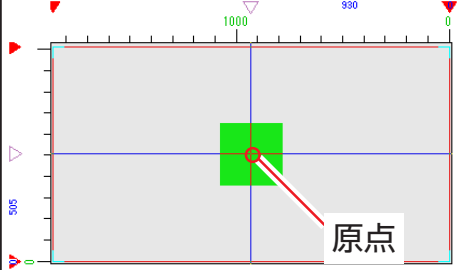
画像を原点の中央に配置するかコーナに配置するかを設定します。



画像の配置は、[原点] 設定と組み合わせて、適切な位置に設定してください。
組み合わせが適切でない場合は、画像が作図領域からはみ出す場合があります。作図領域からはみ出した画像は、印刷されません。



- A. 幅方向: コーナ合わせ
画像の右端と幅方向の原点を合わせます。
- B. 幅方向: 中央合わせ
画像の幅方向の中央と幅方向の原点を合わせます。
- C. 送り方向: コーナ合わせ
画像の先端と高さ方向の原点を合わせます。
- D. 送り方向: 中央合わせ
画像の高さ方向の中央と高さ方向の原点を合わせます。

幅方向 送り方向	コーナ合わせ	中央合わせ
コーナ合わせ		
中央合わせ		

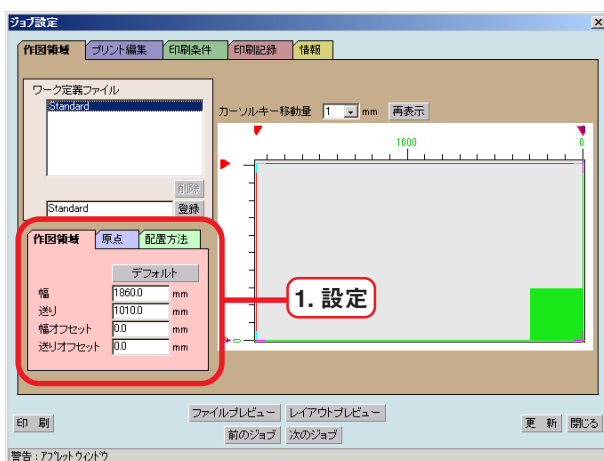
ワーク定義ファイルの登録

[作図領域]、[原点]、および[配置方法]サブメニューで設定した条件を名前を付けてワーク定義ファイルに登録します。

印刷する際は、必ずワーク定義ファイルを選択してください。

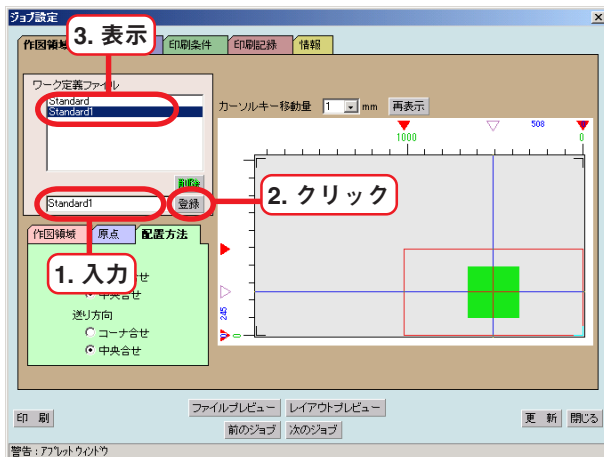
ワーク定義ファイルを追加登録することができます。

1



[作図領域]、[原点]、および[配置方法]の各項目を設定します。

2



登録名を入力します。

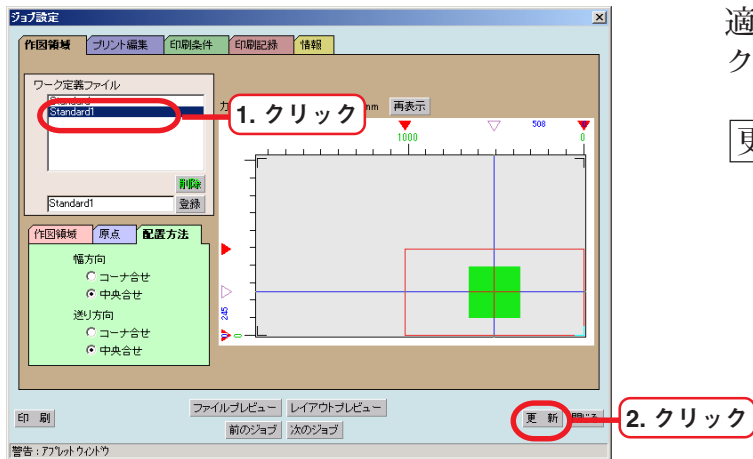
登録名は、作図領域、原点の位置、および画像の配置方法がわるような名称にします。

登録 ボタンをクリックします。
新しい名称のファイルが、ワーク定義ファイルリストに表示します。

ワーク定義ファイルの選択

登録してあるワーク定義ファイルを呼び出します。

1



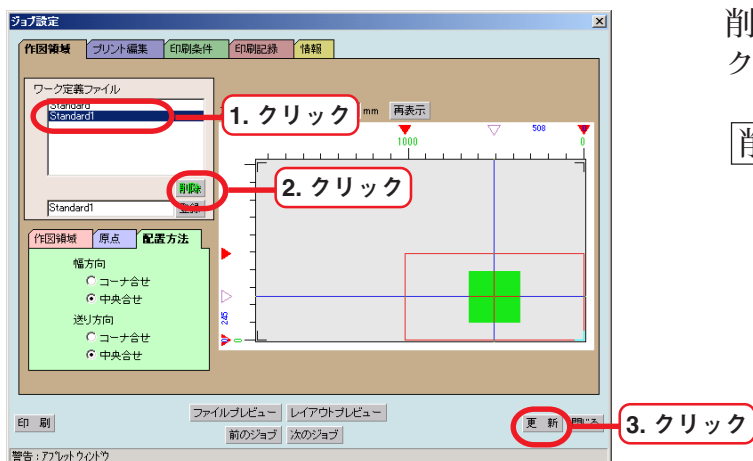
適用するワーク定義ファイルを
クリックします。

更新 ボタンをクリックします。

ワーク定義ファイルの削除

登録してあるワーク定義ファイルを削除します。

1



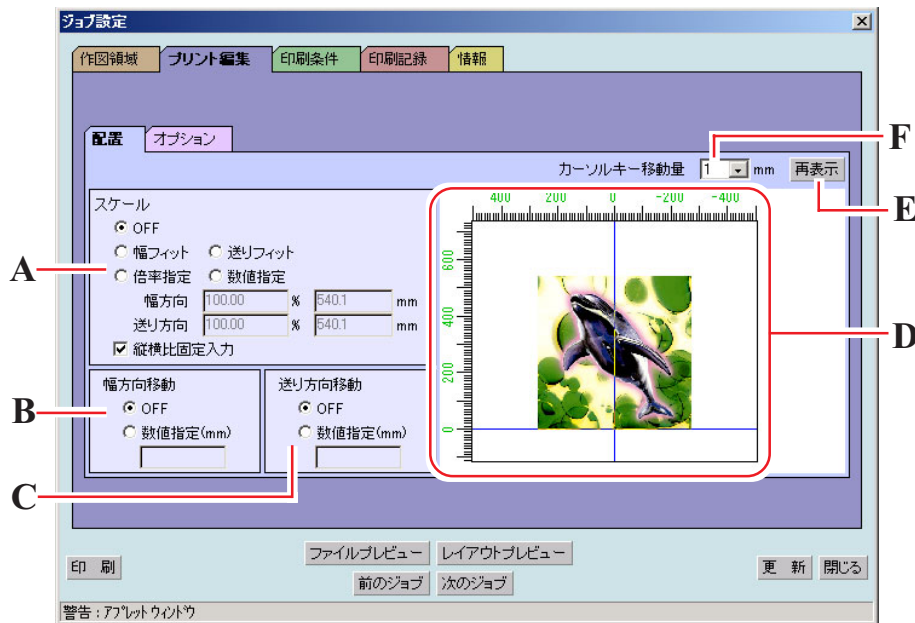
削除するワーク定義ファイルを
クリックします。

削除 ボタンをクリックします。

[プリント編集]メニュー

[配置] サブメニュー

画像の拡大／縮小、および画像の配置を微調整するサブメニューです。画像の移動は、マウスやキーボードの矢印キーを使用して、作図エリア内を移動できます。



A. スケール

画像の拡大、または縮小を設定します。

OFF : 画像の拡大、または縮小は行いません。

幅フィット : 画像の幅を作図領域の幅に合わせて拡大／縮小します。

送りフィット : 画像の高さを作図領域の高さに合わせて拡大／縮小します。

倍率指定 (%) : 画像サイズを倍率指定する場合にクリックします。幅方向および送り方向への倍率を入力します。倍率に100%を入力すると、アプリケーションソフトウェアで作成したサイズで作図します。

数値指定 (mm/インチ) : 画像サイズを数値指定する場合にクリックします。幅方向および送り方向の作図時の画像サイズを入力します。

縦横比固定入力 : “縦横比固定入力”のチェックを外すと、画像の縦と横のサイズを変えて作図することができます。

B. 幅方向移動

画像の幅方向への移動量を設定します。

OFF : 画像の移動は行いません。

数値指定 : 幅方向への移動量を入力します。
(mm/インチ)

C. 送り方向移動

画像の送り方向への移動量を設定します。

OFF : 画像の移動は行いません。

数値指定 : 送り方向への移動量を入力します。
(mm/インチ)

D. 配置ビュー

[作図領域]メニューの[作図領域]サブメニューで設定した作図領域内を表示します。

作図領域内に配置した画像を確認できます。

[プリント編集]メニューで設定した条件をプレビューします。

しかし、コピーのネスティングを有効にしても、表示する画像は1枚のみです。ネスティングの状態を確認するためには、レイアウトプレビューウィンドウで確認してください。

“幅方向移動”と“送り方向移動”の数値指定をクリックすると、画像の位置をマウスで移動できます。


また、キーボードの矢印キーを押しても画像の位置を移動できます。

( P. 22)

E. 再表示 ボタン

配置ビューを再表示します。

F. カーソルキー移動量

キーボードの矢印キーを押して画像の位置を移動するときの単位を選択します。( P. 22)

キーボードによる画像の移動

1

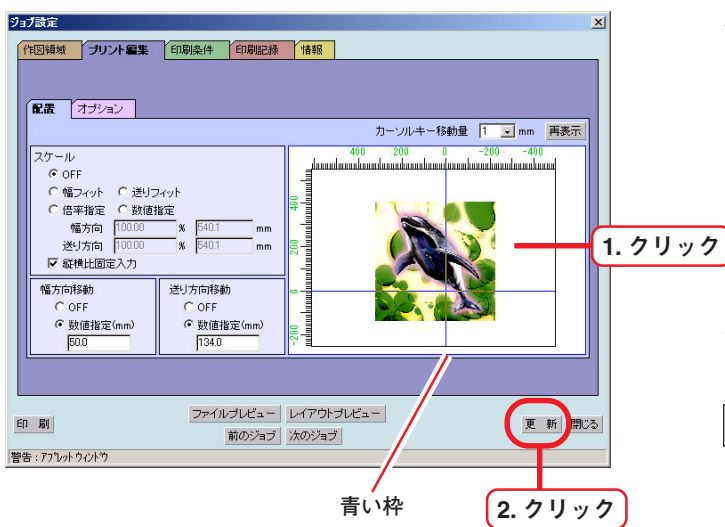


“カーソルキー移動量”でキーボードの矢印キーを押したときの移動量を選択します。

幅方向に移動したい場合は、“幅方向移動”の“数値指定”をクリックします。

送り方向に移動したい場合は、“送り方向移動”の“数値指定”をクリックします。

2



作図領域内をマウスでクリックし、配置ビューをアクティブにします。

配置ビューの枠が青く変わります。

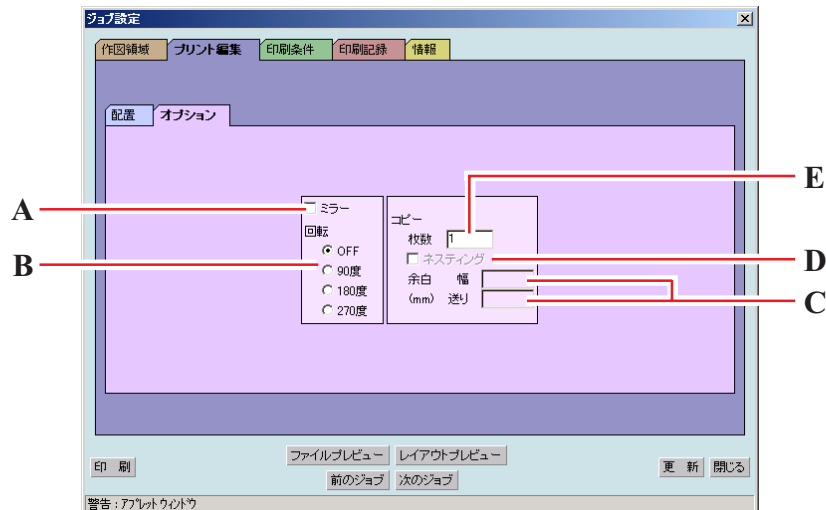
キーボードの Tab キーを数回押しても配置ビューをアクティブにできます。

キーボードの矢印キーを押して画像を移動します。

更新 ボタンをクリックします。

[オプション]サブメニュー

画像のミラー反転、回転、およびコピー数を設定するサブメニューです。



A. ミラー

画像を鏡に映したように作図します。

ミラーイメージは、レイアウトプレビューウィンドウで確認できます。

B. 回転

画像の回転角度を選択します。

回転イメージは、レイアウトプレビューウィンドウで確認できます。

C. コピー余白 幅／送り

コピー枚数とネスティングを有効にした際に設定します。

コピーした画像と画像の間の幅方向と送り方向の余白を入力します。

D. ネスティング

コピー枚数を入力にした際に設定します。

作図領域の幅方向にコピー画像を配置する場合にネスティングを有効にします。

同じ画像を複数のワークに印刷する場合は、ネスティングを無効にしてください。

E. コピー枚数

ネスティングを無効にしたコピーは、ワークをコピーする枚数分交換してください。

ネスティングを有効にしたコピーは、指定したコピー数を1つのワークに印刷します。作図領域外にもデータがある場合、そのデータは作図領域からはみ出して印刷します。

ネスティングコピーをする際の注意事項

コピーする際にネスティングを有効にする場合は、必ず下記の項目を設定をしてください。

設定を誤ると正常に印刷できません。レイアウトプレビューウィンドウでも実際の印刷レイアウトを正常に表示しません。

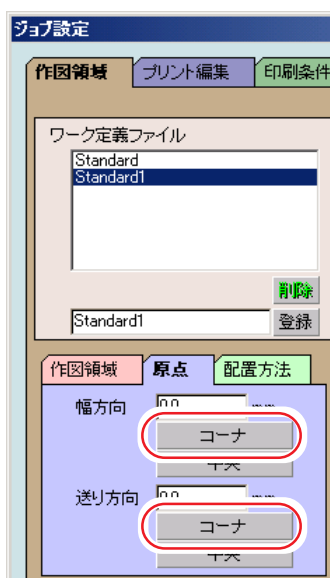


注意

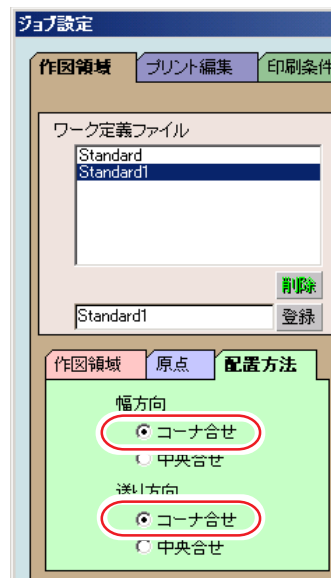
ネスティングコピーでは、作図領域の送り方向にはみ出た画像も印刷します。よって、送り方向のテーブル上に印刷しないよう不要な用紙等を敷くことをお勧めいたします。



“0.0 mm” に設定



“コーナ” を設定



“コーナ合わせ” を設定



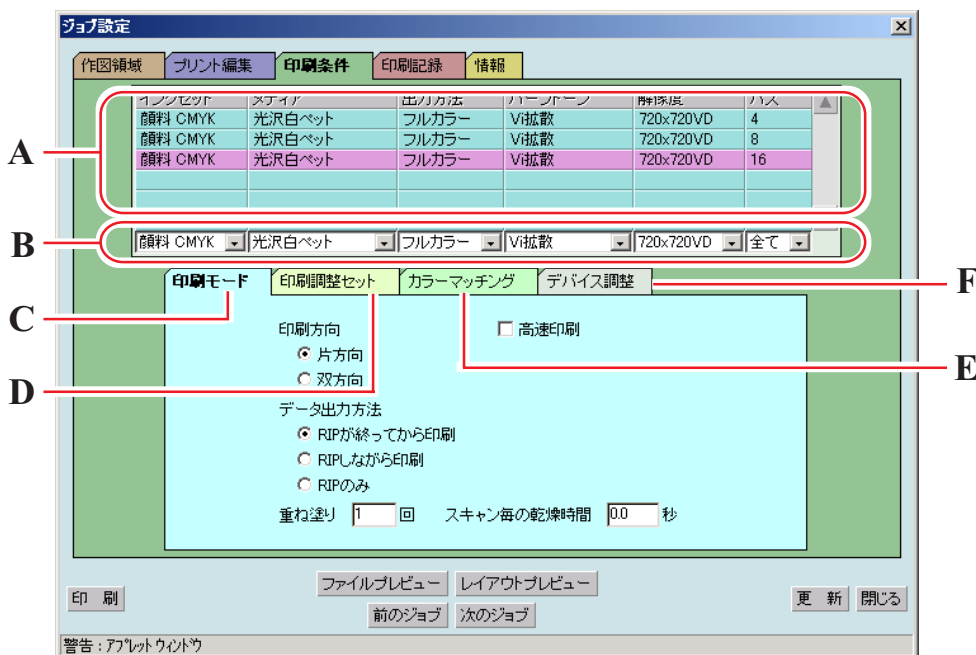
幅／送り方向移動を“OFF” に設定



画像の位置を移動させる場合は、プリンタ側で原点を移動してください。

[印刷条件]メニュー

プロファイルの選択、印刷条件、およびカラー調整を行います。



A. プロファイルリスト

最適な印刷を行うためのプロファイルを表示します。

使用するプロファイルをクリックして選択します。

なお、プロファイルに登録されていない印刷条件では印刷できません。メディア名に“v2”と付いたプロファイルがあります。このプロファイルは、グレーバランスを調整することができます。

B. プロファイル絞り込みメニュー

プロファイルの数が多い場合、プロファイルの絞り込みに使用します。

C. [印刷モード]サブメニュー (P. 26)

印刷モードを設定します。

D. [印刷調整セット]サブメニュー (P. 28)

各インクのインクカーブ、およびカラー調整を設定します。

E. [カラーマッチング]サブメニュー (P. 30)

ディスプレイ上の表示と実際の印刷出力の色合いを近づける時に選択します。

F. [デバイス調整]サブメニュー (P. 32)

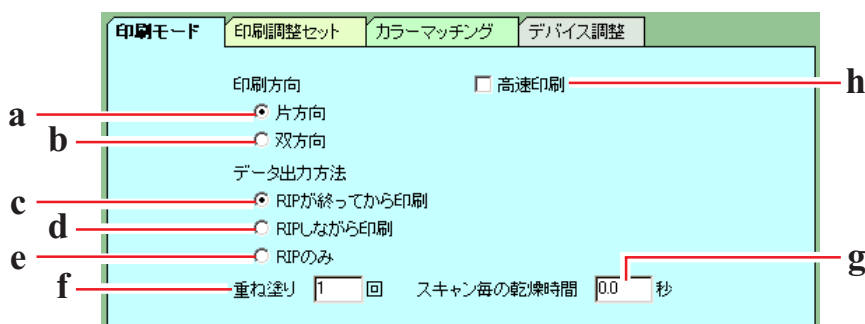
プリンタ特有の調整機能を設定します。

[印刷モード]サブメニュー

印刷モードを設定します。



- コピーの場合は、“RIPしながら印刷”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷を行います。よって、プリンタが印刷を開始するまでの時間が長くなります。
- コピーの場合は、“RIPのみ”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷します。
- “RIPしながら印刷”を設定した場合は、再印刷はできません。



- a. 片方向 : ヘッドが右から左へ移動する際にインクを吐出して印刷します。“双方向”よりは綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。
- b. 双方向 : ヘッドが左右に移動する際にインクを吐出して印刷します。“片方向”よりは画質が落ちますが、印刷時間は短くなります。
- c. RIPが終わってから印刷:
RIP中はRIP済みデータをハードディスクに保存し、RIP終了後に印刷を開始します。
Raster Link Proからプリンタへのデータ転送が間に合わない場合に使用します。
- d. RIPしながら印刷 : RIP処理しながら、プリンタへデータを送信します。また、“印刷しながらカラー調整”機能が設定可能です。
- e. RIPのみ : RIP処理のみ行います。処理したデータは、“印刷済み”ジョブリストに保管されます。
RIP済みのデータは、再印刷ができます。
(☞ P. 58)

- f. 重ね塗り : 発色を強くしたい場合に設定します。
重ね塗り用の出力プロファイル(2Layer用)を使用する場合は、重ね塗りの回数には“2”を入力してください。
- g. スキャン毎の乾燥時間 :
ヘッドが1スキャンする度に停止する時間を設定します。
インクの乾燥状態を目安に設定してください。
- h. 高速印刷 :
印刷時間を短くするために、高速で印刷することができます。
ただし、通常の印刷より画質が落ちます。

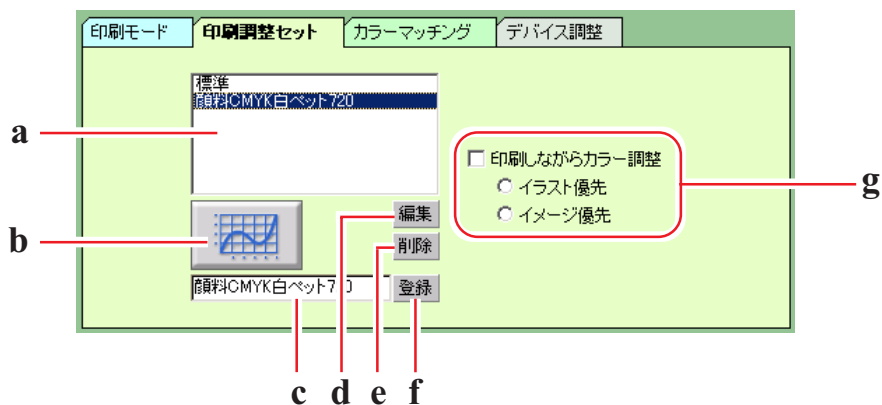


注意

- 下記のいずれかの条件では、[印刷条件]メニューの高速印刷は設定できません。
 - ・ 使用インクが分散インクの時
 - ・ 顔料インクまたは染料インクで、最低パス数を設定したとき

[印刷調整セット]サブメニュー

各インクのインクカーブ、およびカラー調整を設定します。調整した条件を印刷調整セットとして名前を付けて保存できます。



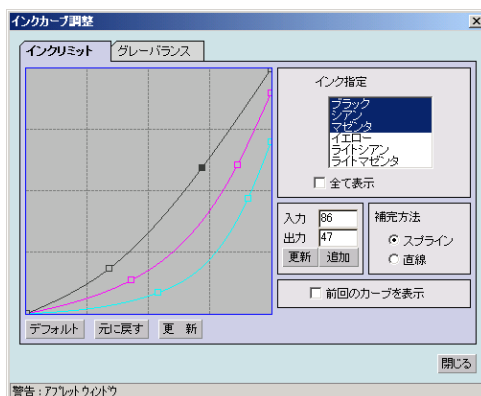
a. 印刷調整セット

: 登録されている印刷調整セットを表示します。

印刷調整セットとは、[印刷調整セット]サブメニューで設定・登録した値を名前を付けて登録したファイルです。

b. インクカーブボタン(🔗 P. 43)

: 印刷調整セットの各色のインクカーブとグレーバランスを調整します。カラー調整では思い通りに色を調整できない場合に使用します。



c. 印刷調整セット名入力ボックス(🔗 P. 37)

: [印刷調整セット]サブメニューで設定した条件に名前を付ける際に入力します。



● 下記の文字は、使用できません。
“ / ¥ : ; | , * ? < > . &

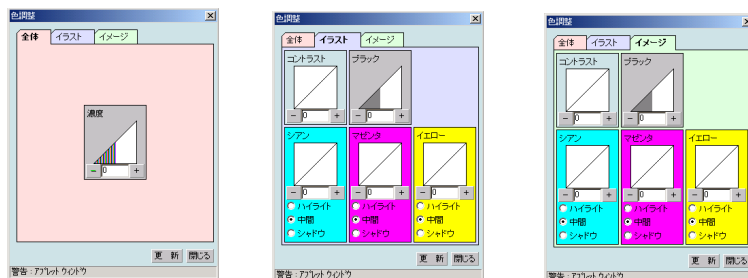
d. **削除** ボタン

: 登録してある印刷調整セット名を削除します。

e. **編集** ボタン (👉 P. 34)

: 登録してある印刷調整セットに対してカラー調整を行います。

カラー調整は、インクの濃度、イラストとイメージごとの各インクの量などを調整します。



f. **登録** ボタン

: 印刷調整セットを登録します。

g. 印刷しながらカラー調整 (👉 P. 40)

: 作図しながらカラー調整を行うことができます。

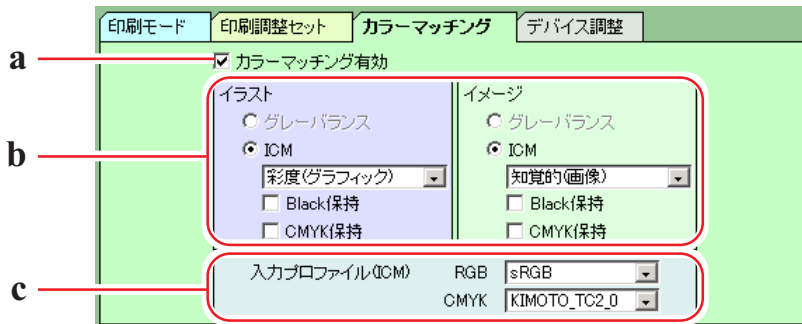
印刷しながらカラー調整を行う場合は、[印刷モード]の作図方法で“RIPしながら印刷”を選択してください。

イラスト優先 : 1 ファイル内にあるベクターデータ部分を優先にカラー調整を行います。

イメージ優先 : 1 ファイル内にあるラスターデータ部分を優先にカラー調整を行います。

[カラーマッチング]サブメニュー

ディスプレイ上の表示と実際の印刷出力の色合いを近づける時に選択します。



a. カラーマッチング有効

カラーマッチングを有効にするか選択します。
[カラーマッチング]サブメニューで設定した条件が、印刷時に反映します。

b. イラスト／イメージ

1 ファイル内にあるイラスト部分とイメージ部分に対して別々にカラーマッチングを設定します。

グレーバランス：

CMYK データを印刷する場合のみ有効です。
例) シアンの部分はシアンインクのみを使うように、他のインクを混ぜ合わせないで各インクの濃度を調整します。

ICM：

各インクを混ぜ合わせてカラーマッチングを行います。

通常は、こちらの項目を設定してください。

知覚的 (画像)：

印刷ファイルが写真の場合に適しています。各カラーの明度を保持します。

彩度 (グラフィック)：

印刷ファイルがイラストの場合に適しています。各カラー域内で、彩度を保持します。

相対的な色域を維持:

相対的にカラー域を確保します。メディアの白色を考慮して、カラーをマッチングします。例えば、黄色味のかかったメディアに印刷する場合は、モニターの画像より全体的に黄色味を帯びて印刷します。

絶対的な色域を維持:

絶対的にカラー域を確保します。認識したカラー値どおりにカラーをマッチングします。例えば、黄色味のかかったメディアを使用する場合でも、メディアのカラーは考慮せず、モニターの画像どおりの色で印刷します。

Black 保持:

ブラックインクで指定された部分は、シアン、マゼンタ、イエローインクを混ぜ合わせないでブラックインクのみで作図します。

CMYK 保持:

一次色のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックで作成されたデータは、カラーマッチングを行わずに作図します。

c. 入力プロファイル(ICM)

データを作成したときのプロファイルを選択します。通常は、以下のプロファイル選択してください。

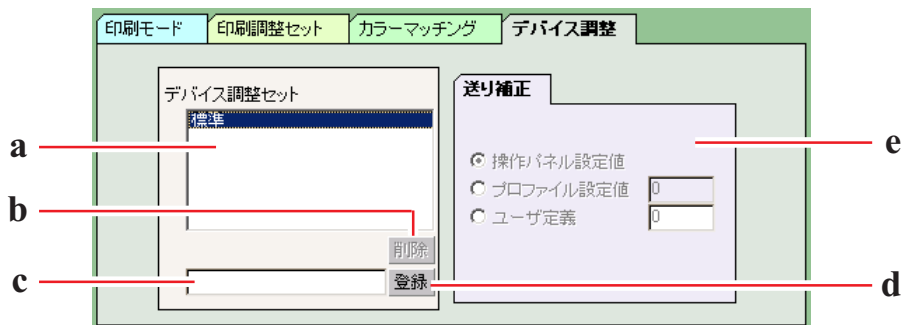
RGB データ sRGB

CMYK データ KIMOTO_TC2_0

[デバイス調整]サブメニュー

プリンタ特有の調整機能を設定します。

ここで設定する機能は、印刷調整セットのように出力プロファイルに依存しません。



a. デバイス調整セット

：登録されているデバイス調整セットを表示します。
デバイス調整セットとは、 [デバイス調整]サブメニューで設定・登録した値を名前を付けて登録したファイルです。

b. 削除 ボタン

登録してあるデバイス調整セット名を削除します。

c. デバイス調整セット入力ボックス

登録するデバイス調整セット名を入力します。
メディア名と送り補正值がわかるような名前を入力すると便利です。



● 下記の文字は、使用できません。

“ / ¥ : ; | , * ? < > . &

d. 登録 ボタン

デバイス調整セットを登録します。

e. 送り補正

DM2-1810は、テーブルを手前に送り出しながら印刷します。作図した画像に縞などが入るなど綺麗に印刷できない場合は、テーブルの送り量を補正します。下記のいずれかの送り補正值を優先にするか設定します。

操作パネル設定値：

プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値：

選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。
プロファイルに値が登録されていない場合は、”0”を表示します。

ユーザー定義：

ボックスに入力した値でプリンタが動作します。
送り補正值は、プリント編集ウィンドウの **印刷** ボタンをクリックしたときに、設定した値をプリンタに通知します。

カラー調整について

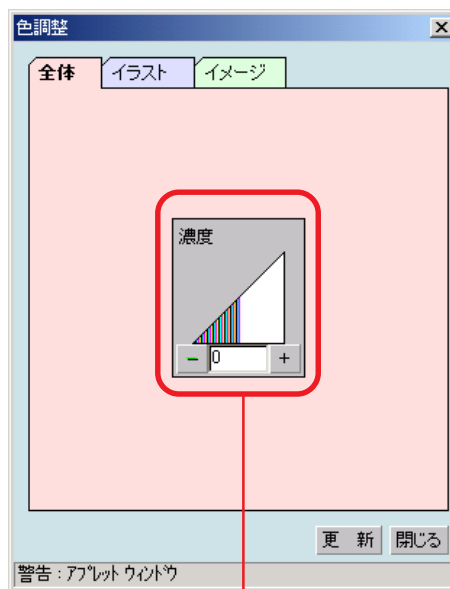
画像の色味を調整します。調整した値は、プロファイル毎に印刷調整セットとして登録します。

印刷調整セットは、以下の2通りの方法で登録が可能です。

- 1) “ジョブ設定” ウィンドウで、各プロファイル毎に印刷調整セットを登録します。
“プリント編集待ち” ジョブリストの印刷ファイルに対して、印刷しながらカラー調整を行い、印刷調整セットとして登録することもできます。
- 2) プリンタの初期セットとして、device 機能で印刷調整セットを登録します。
プリント編集を行わずパソコンから直接印刷する場合に便利です。

“色調整” ウィンドウ

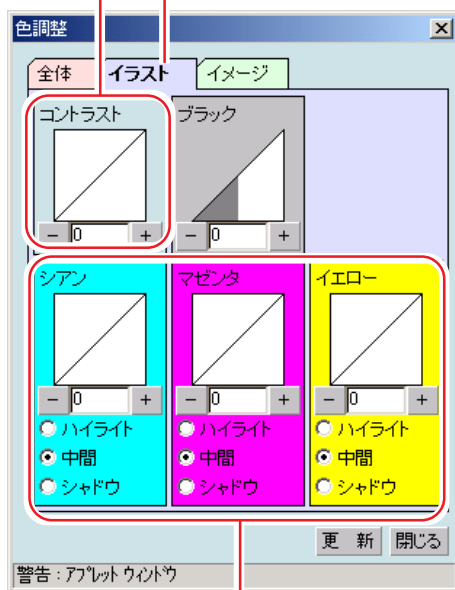
、または をクリックすると、5単位で数値が変わります。
また、数値ボックスに直接数字を1単位で入力することができます。
値は -50% から +50% までの範囲で入力できます。



全てのインクの最大使用量を調整します。
この調整は、イラストとイメージの区別なく反映します。
全体の濃度をプラス値に設定すると、各色のインクリミット値を越えて印刷できます。

画像のコントラストを調整します。
 値を大きくするとコントラストが強くなり、
 小さくすると弱くなります。

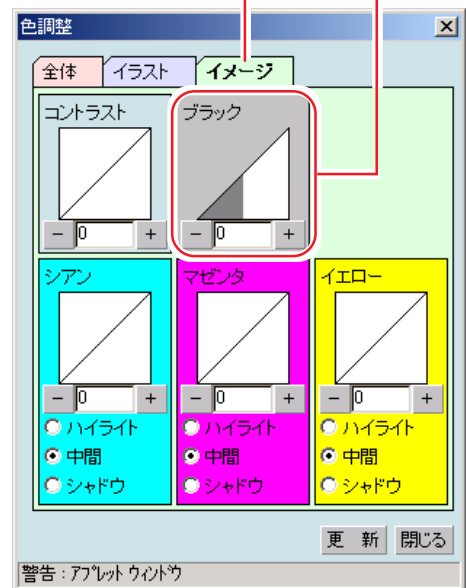
1 ファイル内にあるイラスト
 部分のカラー調整を行います。



主に調整したい部分 (ハイ
 ライト、中間、シャドウ) の
 インク量を調整します。より
 詳細に調整するには、イン
 クカーブ調整を行ってくだ
 さい。(P. 43)

ブラックインクの使用量を調整します。値を
 大きくするとブラックインクの使用量が増え、
 シアン、マゼンタ、そしてイエローインクの使用
 量が減ります。黒い部分が乾きにくいとき
 は、値を大きくすると乾きやすくなります。

1 ファイル内にあるイメージ
 部分のカラー調整を行います。

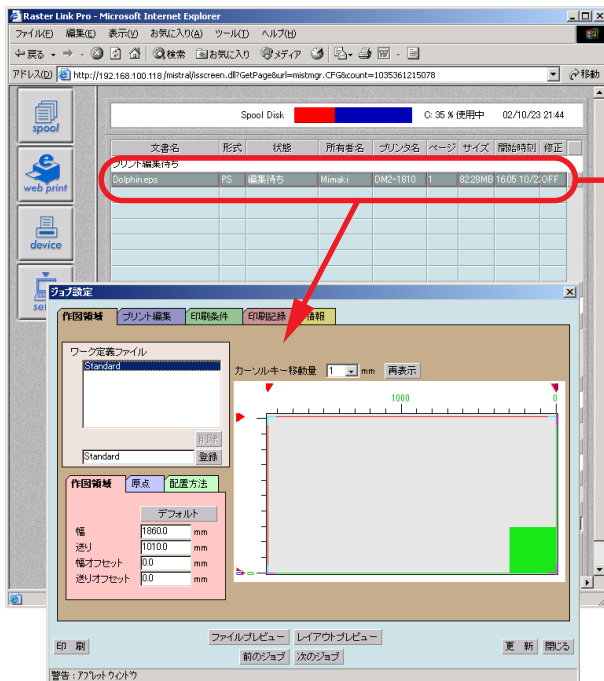


印刷調整セットを作成する

印刷調整セットは、プロファイル毎に作成します。

しかし、印刷調整セットは、パス数別に作成する必要はありません。パス数が異なっても他の印刷条件（インクセット、メディア、出力方法、ハーフトーン、解像度）が同じならば、同じ印刷調整セットを適用できます。

1

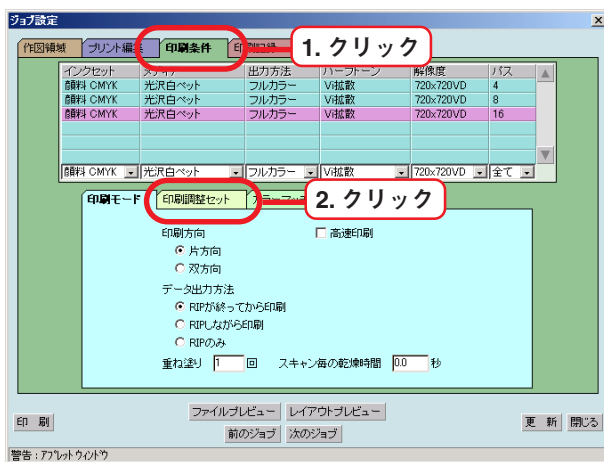


印刷調整セットを適用したい印刷ファイルをダブルクリックします。

“ジョブ設定”ウィンドウが開きます。

ダブルクリック

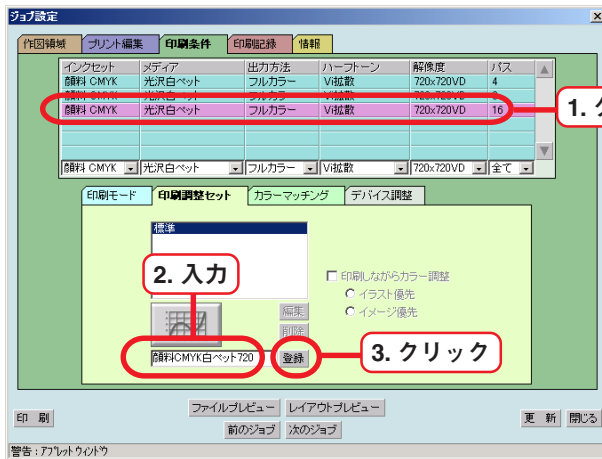
2



[印刷条件]メニューをクリックします。

[印刷調整セット]サブメニューをクリックします。

3



印刷調整セットを作成するプロファイルをクリックします。

印刷調整セット名を入力します。



- ・下記の文字は、使用できません。
“ / ¥ : ; | , * ? < > . &

印刷調整セット名は、カラー調整したいプロファイルが解るような名称を付けてください。

入力できる文字数は、半角文字で31文字までです。スペースや特殊文字は、使用しないでください。

(例、顔料CMYK白ベツト720)



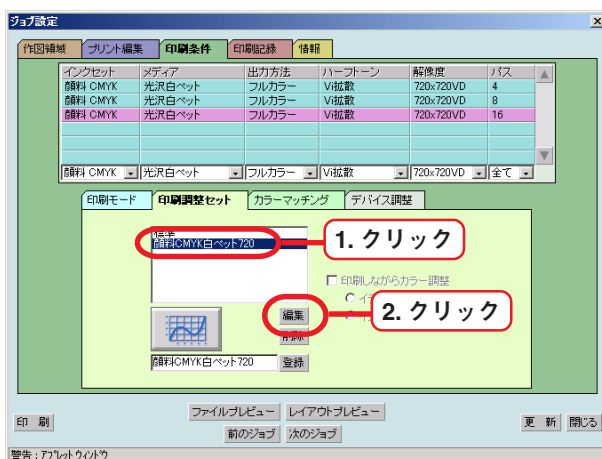
登録 ボタンをクリックします。

すでに同じ名前の印刷調整セットがある場合は、上書きします。




- ・新規に印刷調整セットを作成する場合は、“標準”を選択します。その後、セット名を入力して 登録 ボタンをクリックします。
- ・登録済みの印刷調整セットを編集して別名で登録する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に 登録 ボタンをクリックします。

4



登録した印刷調整セットをクリックします。

このとき、インクカーブボタン  がアクティブになります。(P.43)

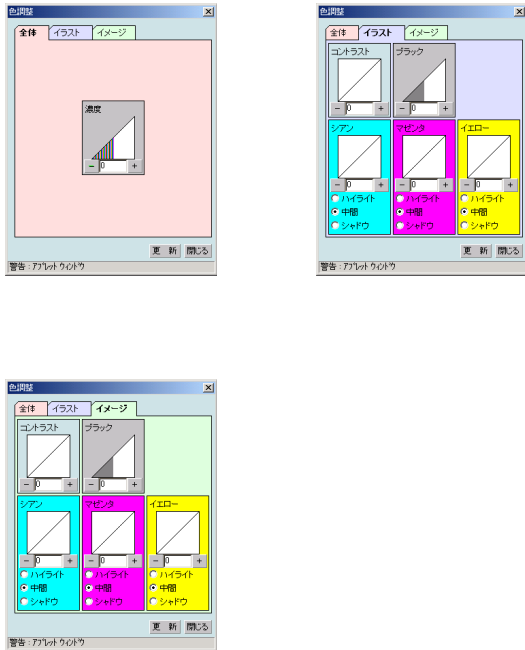


編集 ボタンをクリックします。



- 削除 ボタンをクリックすると、選択した印刷調整セットを削除できます。

5



各種調整を行います。

更新 ボタンをクリックします。
パラメータを保存します。

閉じる ボタンをクリックします。

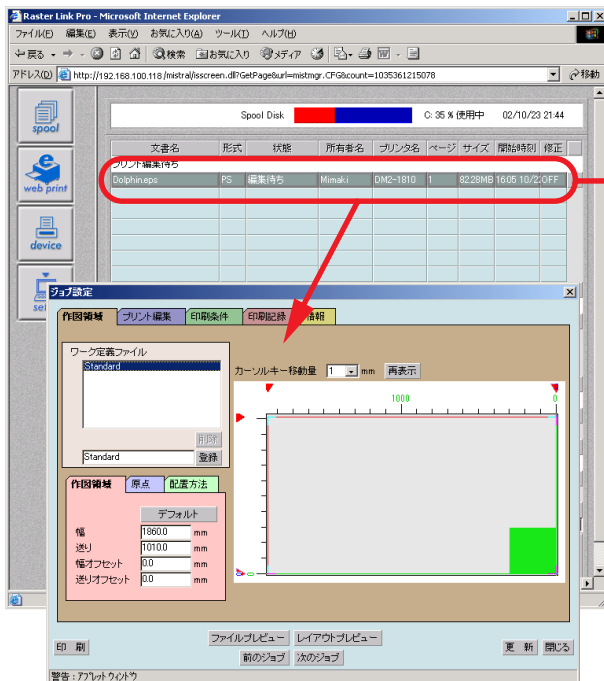
印刷調整セットを使用して印刷する

登録した印刷調整セットを使用して印刷します。



印刷調整セットは、プロファイル毎に作成します。
使用するプロファイルは、印刷調整セットを作成した時のプロファイルを選択してください。

1

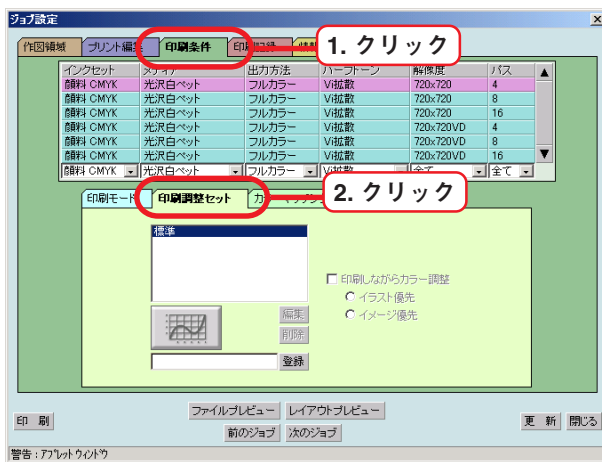


ダブルクリック

Spool画面で印刷したいファイルをダブルクリックします。

”ジョブ設定”ウィンドウが開きます。

2



[印刷条件]メニューをクリックします。

[印刷調整セット]サブメニューをクリックします。

3



使用するプロファイルをクリックします。

選択したプロファイルで作成した印刷調整セットをクリックします。

更新 ボタンをクリックします。

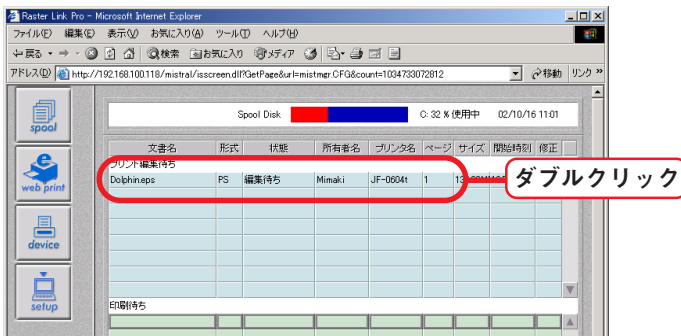
印刷 ボタンを押します。

選択した印刷調整セットを使用し、印刷を開始します。

印刷中にカラー調整を行うには

印刷しながら、登録してある印刷調整セットを再調整することができます。
再調整したカラー調整値は、すでに登録してある印刷調整セットに上書きができます。また、別名で登録することもできます。

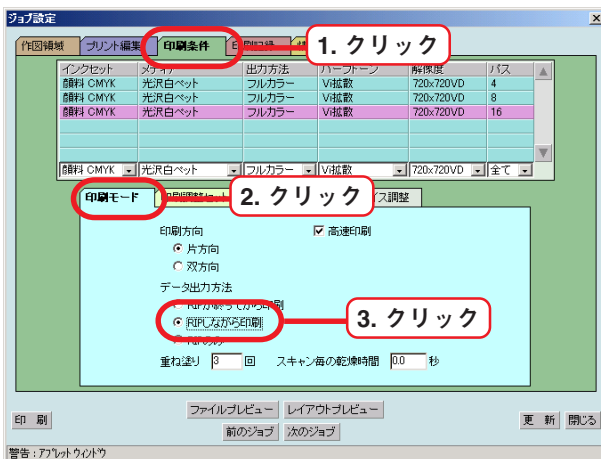
1



印刷調整セットを適用したい印刷ファイルをダブルクリックします。

“ジョブ設定”ウィンドウが開きます。

2



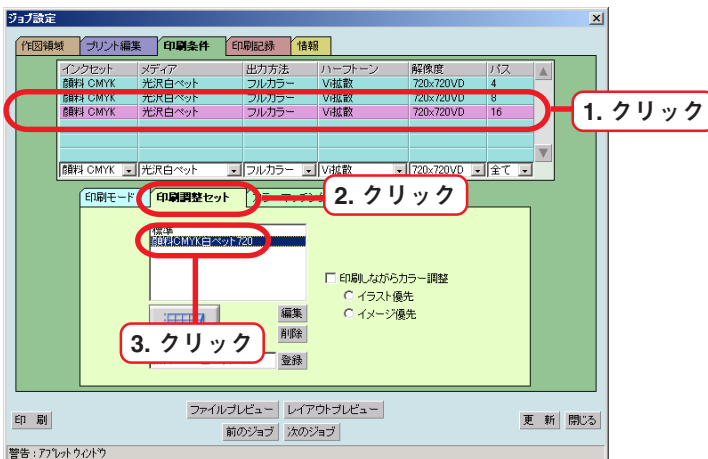
[印刷条件]メニューをクリックします。

[印刷モード]サブメニューをクリックします。

“RIPしながら印刷”をクリックします。

[印刷調整セット]サブメニューの“印刷しながらカラー調整”項目がアクティブになります。

3



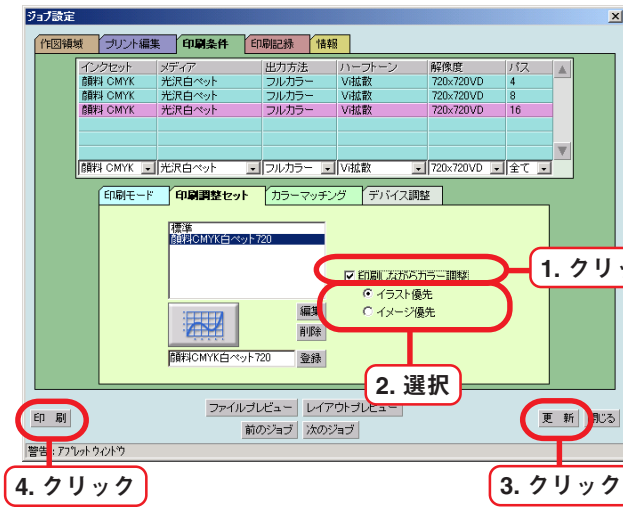
使用するプロファイルをクリックします。

[印刷調整セット]サブメニューをクリックします。

選択したプロファイルで作成した印刷調整セット名をクリックします。

印刷調整セットは、“標準”を選択しても印刷しながらカラー調整ができます。

4



“印刷しながらカラー調整”をクリックします。

カラー調整を適用したい画像タイプを選択します。

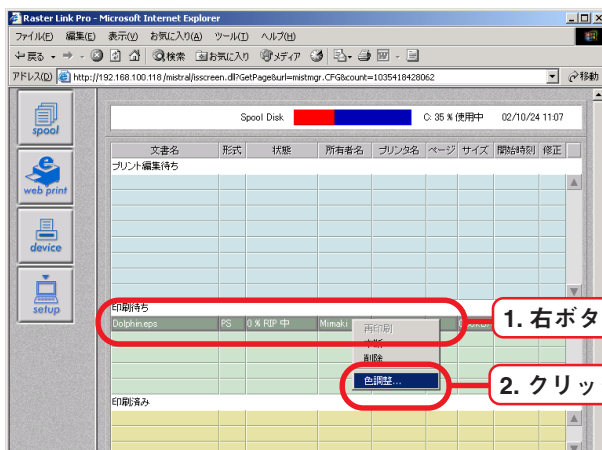


★ 印刷しながらのカラー調整では、どちらかの画像タイプのカラー調整が画像全体に適用されます。

更新 ボタンをクリックします。

印刷 ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

5



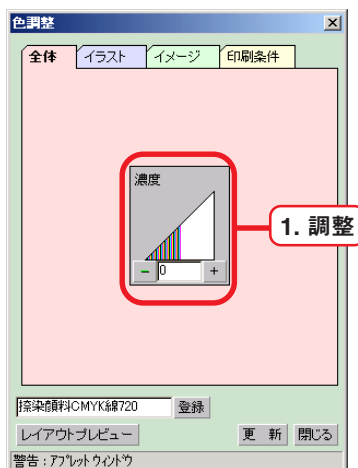
印刷中のファイルを選択し、右クリックします。

サブメニューから“色調整...”を選択します。

または、印刷ファイルをダブルクリックします。

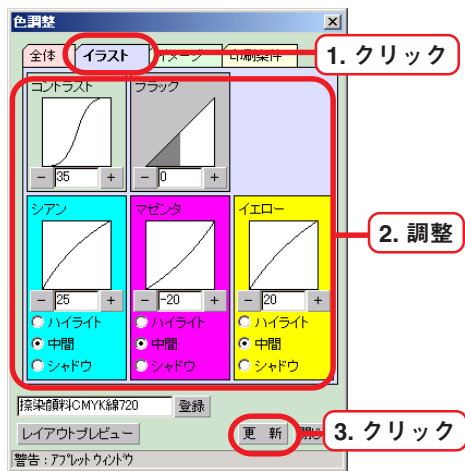
“色調整”ウィンドウが開きます。

6



すべてのインクに対してのインク濃度を調整します。

7



手順4) で選択した画像タイプの調整を行います。

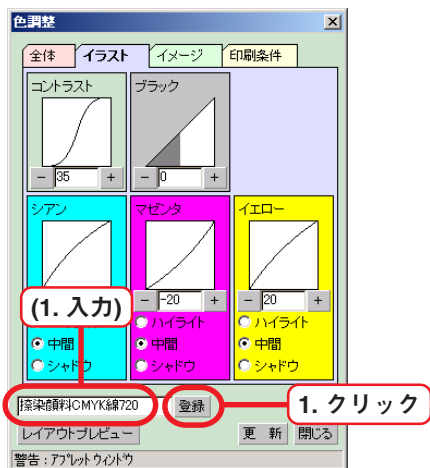


★ ここで調整した内容は、画像全体に適用されます。左図のようにイラストのカラー調整を行った場合でも、イメージにも同様に適用されます。

更新 ボタンを押すと、再調整した値が印刷に反映します。

手順7) を何度か繰り返し、適切なカラー調整を行います。

8

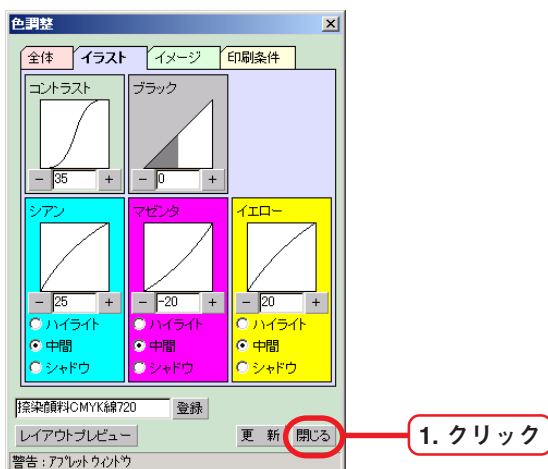


登録 ボタンをクリックします。調整値を上書きします。



・ 新規にカラー調整セットを登録する場合は、カラー調整セット名を入力します。

9



閉じる ボタンをクリックします。

より詳細にカラー調整をするには（インクカーブ）

カラー調整セットを使用しても思い通りにカラーを調整できない場合は、各インクのインクカーブを調整します。

インクカーブは、カラー調整セットに登録した各色のインク濃度を変更します。2種類のインクカーブ調整があります。

“インクリミット”カーブ：全色のインクに対してインク濃度を調整します。

“グレーバランス”カーブ：“グレーバランス”カーブは、“カラーマッチング”メニューで“グレーバランス”を選択した場合に有効になります。(P.30)

ブラック、シアン、マゼンタ、そしてイエローの4色のみを使用してインク濃度を調整します。メディア名に“v2”と付いたプロファイルを選択するとグレーバランスを調整することができます。



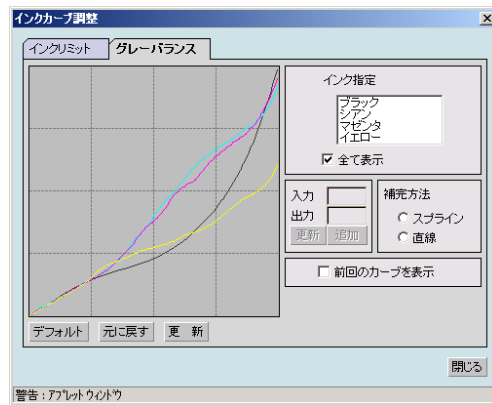
注意

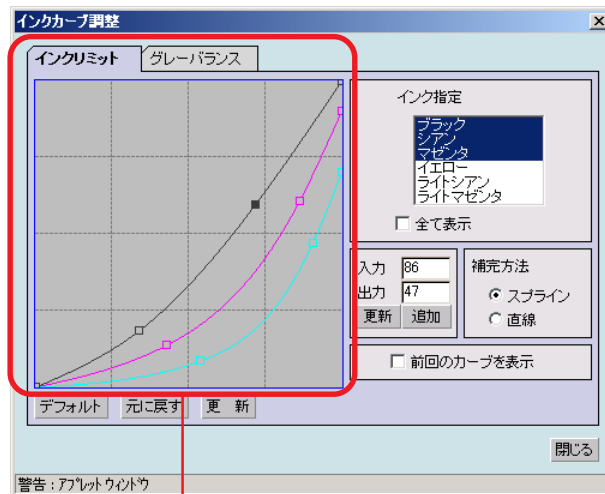
カラー調整セットは、イメージとイラストを別々に調整します。しかし、インクカーブは、イメージとイラストの区別なく画像全体に反映します。

“インクリミット”カーブ



“グレーバランス”カーブ



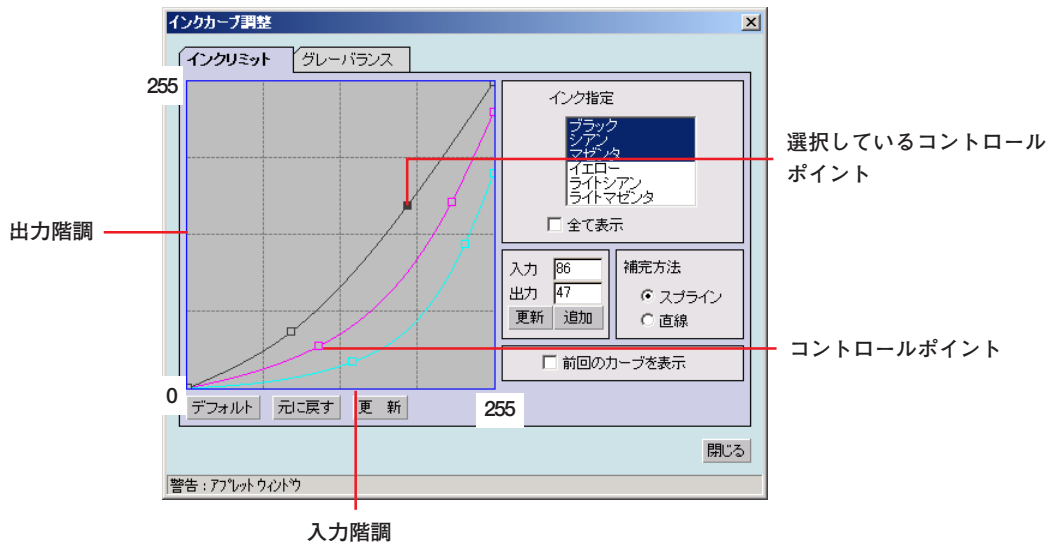


インクカーブ：

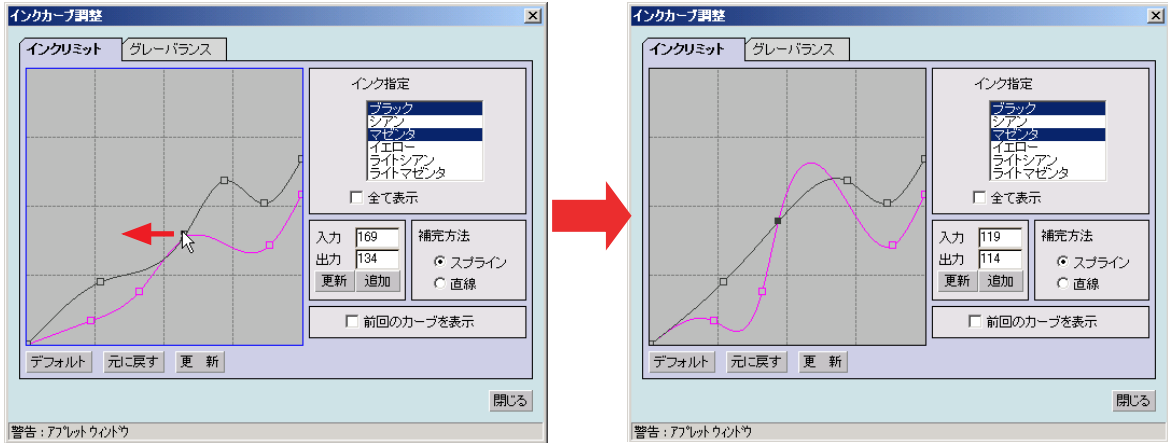
“インク指定” リストで選択したインクのインクカーブを表示します。

横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。縦軸、横軸とも 0 から 255 の範囲を表示します。

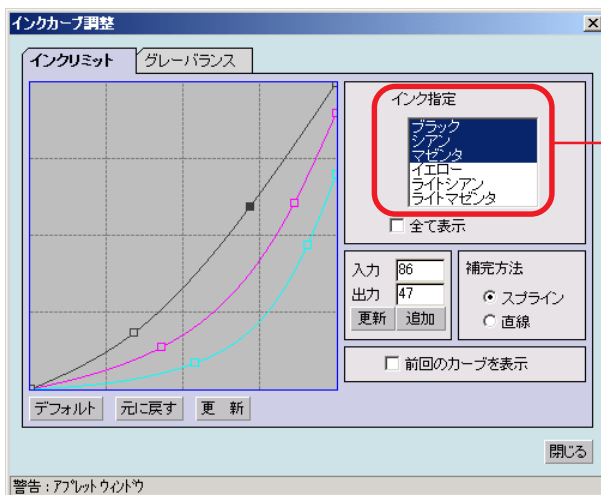
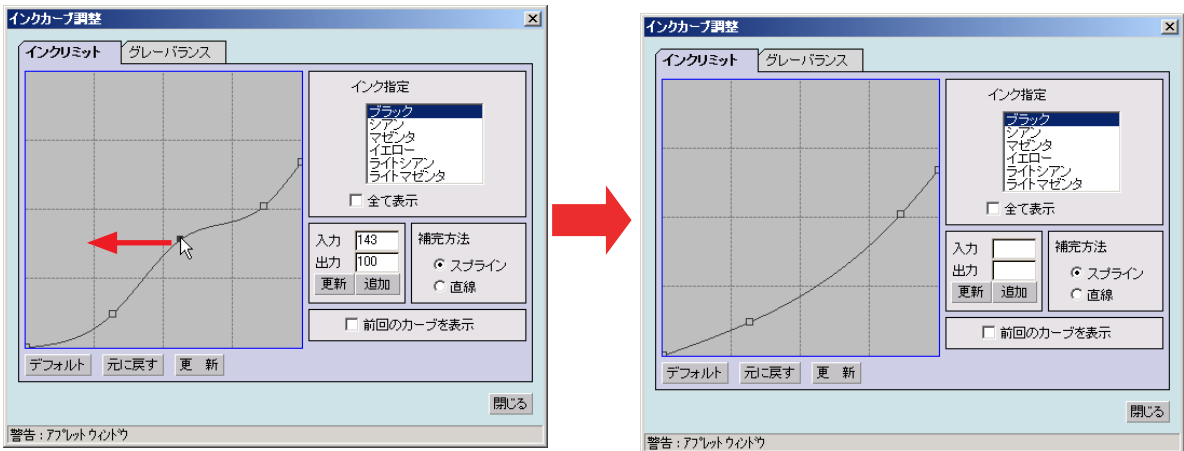
出力階調が 0 より下回る場合は、0 に設定されます。また、255 より上回る場合は、255 に設定されます。インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。最高 30 個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜ききの矩形からインクの色で塗られた矩形に変わります。



複数のインクカーブを一度に変更する場合は、各色のインクカーブが重なり合っている部分、または接近している部分をマウスでドラッグします。または、キーボードの矢印キーを押してコントロールポイントを移動します。



コントロールポイントの削除は、削除したいコントロールポイントを隣合うコントロールポイントの外側にドラッグすると削除できます。または、キーボードの Delete キー (Back Space キー) を押します。



インク指定リスト：

印刷条件設定ウィンドウで選択したインクセットのインクを表示します。

複数のインクを選択する：

- Windows 続けてクリック
- Mac OS 8-9 Command キー + クリック
- Mac OS X Shift キー + クリック

選択を解除する：

- Windows クリック
- Mac OS 8-9 Command キー + クリック
- Mac OS X Command キー + クリック

全て表示：

全てのインクカーブを表示します。
調整するインクカーブを選択するには、
“インク指定”リストで変更するインク名
をクリックしてください。

補完方法：

補完方法をスプラインにするか直線にする
か選択します。

“インク指定”リストのインク名をクリッ
クすると、現在の補完方法を表示します。
複数のインクを選択し、各インクで補完方
法が異なる場合は、選択しているインク指
定リストの先頭のインクの補完方法を表示
します。

前回のカーブを表示：

変更する前のインクカーブを破線で表示し
ます。**更新** ボタンをクリックすると変更
前のインクカーブは消えます。

入力階調と出力階調の数値を入力してコン
トロールポイントを調整します。コン
トロールポイントを追加する場合は、数値を
入力して **追加** ボタンをクリックします。
コントロールポイントの位置を変更する場
合は、変更するコントロールポイントを選
択し、数値を入力した後に **更新** ボタンを
クリックします。
ただし、変更する入力コントロールポイン
トは、隣り合うコントロールポイントを超
えて設定することはできません。

更新 ボタン：

変更したインクカーブを登録します。

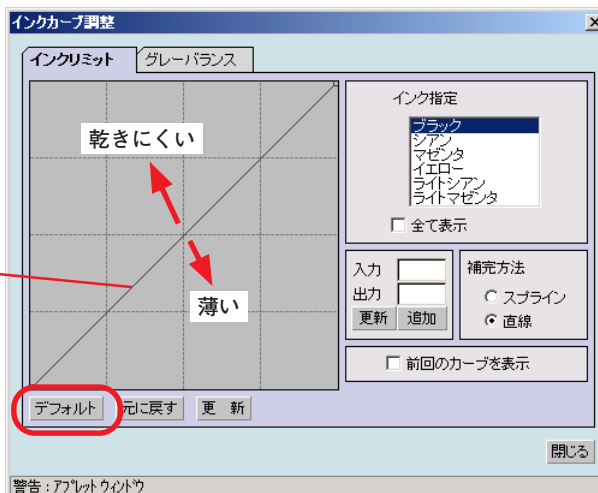
元に戻す ボタン：

“インク指定”リストで選択中のインクカーブを
更新する前のカーブに戻します。

デフォルト ボタン：

“インク指定”リストで選択したインクのリミット値を読み込みます。
インクリット値より低い値を設定すると色が薄く印刷されます。
高い値を設定すると色が濃くなり、乾きにくくなります。

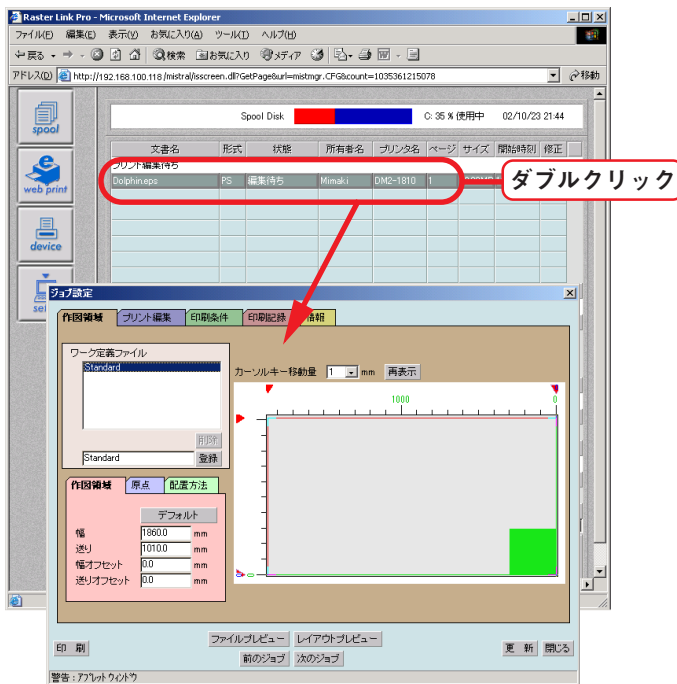
デフォルトカーブ



インクカーブを調整して印刷

インクカーブの調整は、印刷調整セットに対して行います。
印刷調整セットを作成していない場合は、新たに印刷調整セットを作成してください。(P. 36)

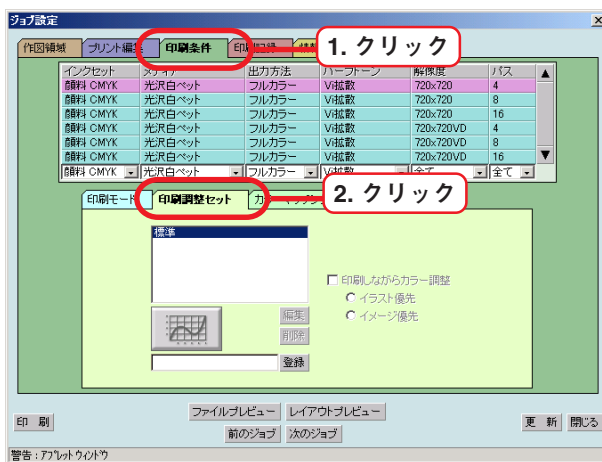
1



インクカーブを調整したい印刷ファイルをダブルクリックします。

“ジョブ設定”ウィンドウが開きます。

2



[印刷条件]メニューをクリックします。


[印刷調整セット]サブメニューをクリックします。

3



インクカーブを調整するプロファイルを選択します。

選択したプロファイルで作成した印刷調整セットをクリックします。

インクカーブボタン  をクリックします。

4



[インクリミット]メニューをクリックします。

調整するインクをクリックします。

複数のインクを選択する：

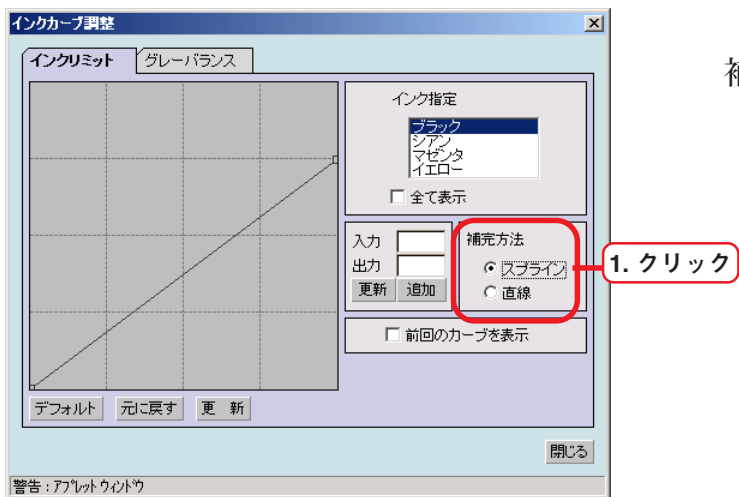
- Windows 続けてクリック
- Mac OS 8-9 Command キー+クリック
- Mac OS X Shift キー+クリック

選択を解除する：

- Windows クリック
- Mac OS 8-9 Command キー+クリック
- Mac OS X Command キー+クリック

必要に応じて、“全て表示”を無効にしてください。

5



補完方法を選択します。

“インク指定”リストのインク名をクリックすると、現在の補完方法を表示します。

複数のインクを選択し、各インクで補完方法が異なる場合は、選択されているインクリストの先頭のインクの補完方法を表示します。左図の場合は、シアンの補完方法を表示しています。

6

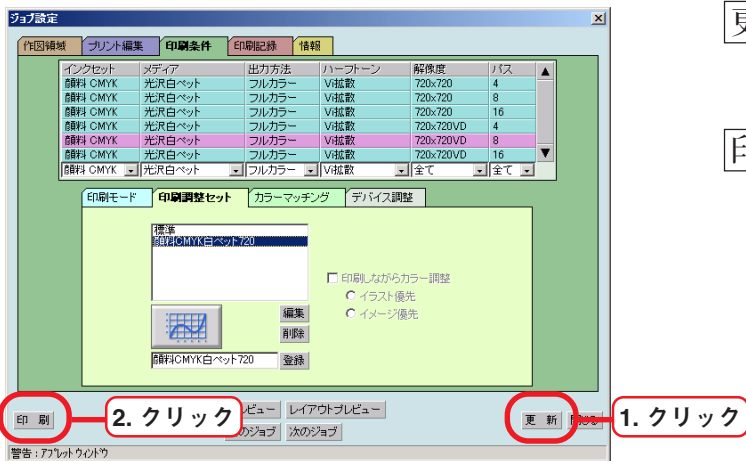


インクカーブを調整します。
(P. 43)

更新 ボタンをクリックします。
インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックしま
す。

7



更新 ボタンをクリックします。
印刷調整セットを更新します。

印刷 ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

キーボードによるインクカーブの設定

インクカーブの調整は、コントロールポイントをマウスでドラッグする他に、キーボードで調整することができます。

以下のキーを使用します。

- ・ **Z** キー：左方向へコントロールポイントを選択していきます。
- ・ **X** キー：右方向へコントロールポイントを選択していきます。
- ・ **Delete** キー / **Back Space** キー：コントロールポイントを削除します。
- ・ **←**、**→**、**↑**、**↓**：矢印方向へコントロールポイントを移動します。

複数のインクカーブが重なっている（または接近している）コントロールポイントをまとめて調整する場合、キーボードで調整すると便利です。

ここでは、複数のインクカーブを調整する方法を説明します。



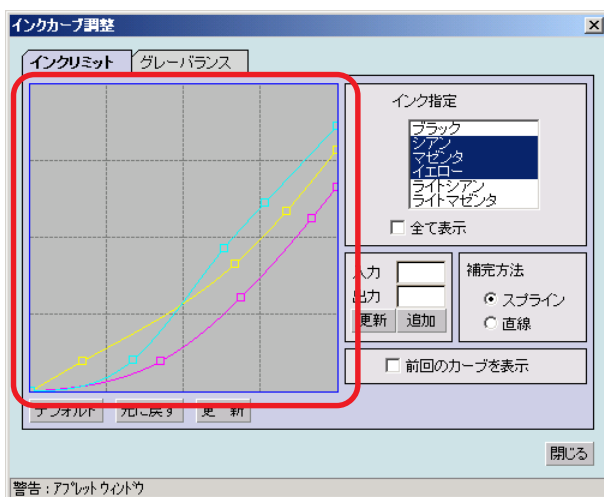
複数のインクカーブを同時に調整する場合、それぞれのインクカーブのコントロールポイント数が同じであることが必要です。

1



“インク指定”リストで調整するインクを選択します。

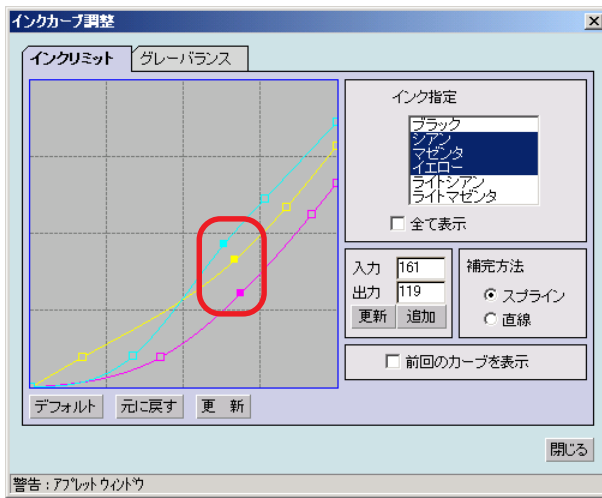
2



Tab キーを押して、インクカーブエリアを選択します。または、インクカーブエリアをマウスでクリックします。

インクカーブエリアが青い枠で囲まれているとインクカーブエリアが選択されています。

3

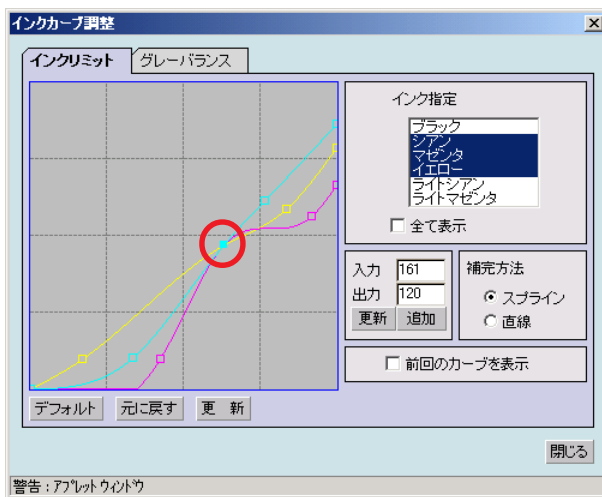


Z キーまたは **X** キーでコントロールポイントを選択します。



- ★ キーを押してもコントロールポイントが選択できない場合は、次の点を確認してください。
 - ・ 各インクカーブのコントロールポイントの数は同じですか？
 - ・ インクカーブエリアが選択されていますか？

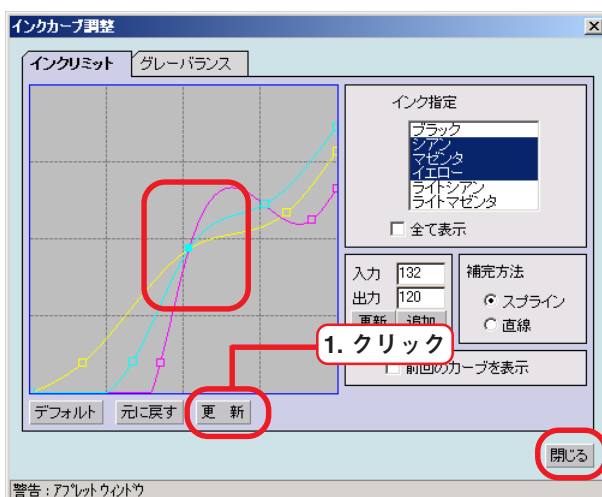
4



いずれかの矢印キーを1回押します。

選択しているコントロールポイントは、“インク指定”リストの一番上に表示しているインクのコントロールポイントに重なります。左図の場合、シアンのコントロールポイントに重なります。シアンのコントロールポイントの入力値および出力値を表示します。

5

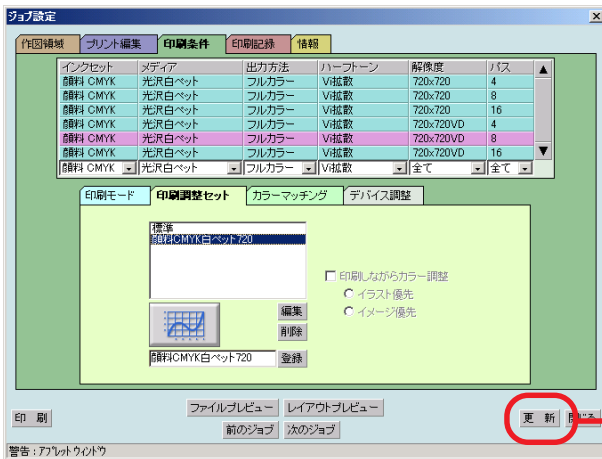


矢印キーでコントロールポイントを調整します。

更新 ボタンをクリックします。
インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

6



更新 ボタンをクリックします。
印刷調整セットを更新します。

1. クリック

[印刷記録]メニュー

正確なインク消費量を表示するためのインク消費係数の設定、および印刷条件等を記録した履歴ファイルを保存することができます。



A. インク消費量

印刷済みのファイルのインク消費量を“ジョブ情報”ウィンドウに表示します。(P. 56)

B. インク消費係数

インク消費量は、画像データを解析して算出します。

印刷時には、オートクリーニング機能やリフレッシュ機能を実行するため、作図以外にもインクを消費します。作図以外に使用するインクをインク係数として設定します。

リフレッシュレベルの値が大きい場合は、インク係数を大きめに設定してください。

設定可能係数：0.01 ～ 9.99

C. 履歴ファイルに保存する

印刷日時、文章名、コピー枚数、幅サイズ (mm)、高さサイズ (mm)、印刷時間、プリンター名、各色のインク消費量 (ml) を履歴ファイルとして保存します。各インクの消費は、0.1ml 単位で表示します。

履歴ファイルは、PrintRecord.csv というファイルで

¥RSTRPROUsers¥History フォルダ内に保存されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	Date	Document	CopyCount	Width	Height	Time	Printer	Cyan	Magenta	Yellow	Black
2	'2002/10/10	画像1.eps	1	1313	928	0:5:42	'DM2	4.3	6.1	6.3	3.5
3	'2002/10/10	画像2.eps	1	226	175	0:9:11	'DM2	8.9	4.5	3.9	13.9
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

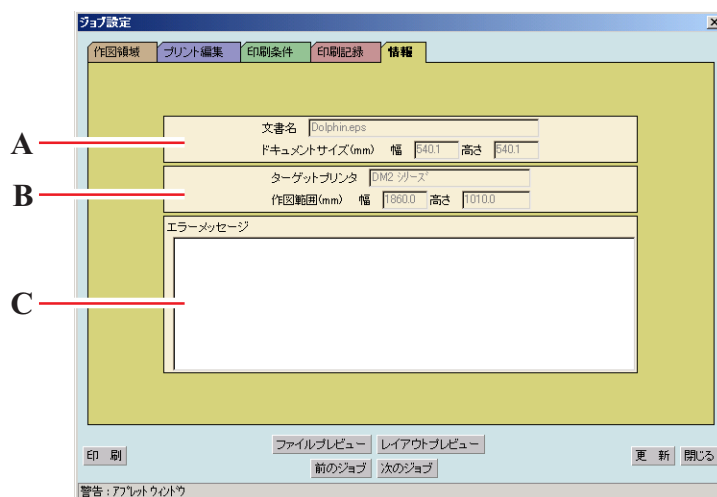
履歴ファイルには、作図する度に履歴を追記していきます。

履歴ファイルは、削除することができます。(P. 60)

[情報]メニュー

[情報]メニューでは、印刷ファイルの文章名、ドキュメントサイズ、作図するプロッタ、作図範囲およびエラーメッセージを表示します。

“ジョブ設定”ウィンドウで誤った設定を行うと[情報]サブメニューが開き、エラーメッセージボックスにエラーメッセージを表示します。

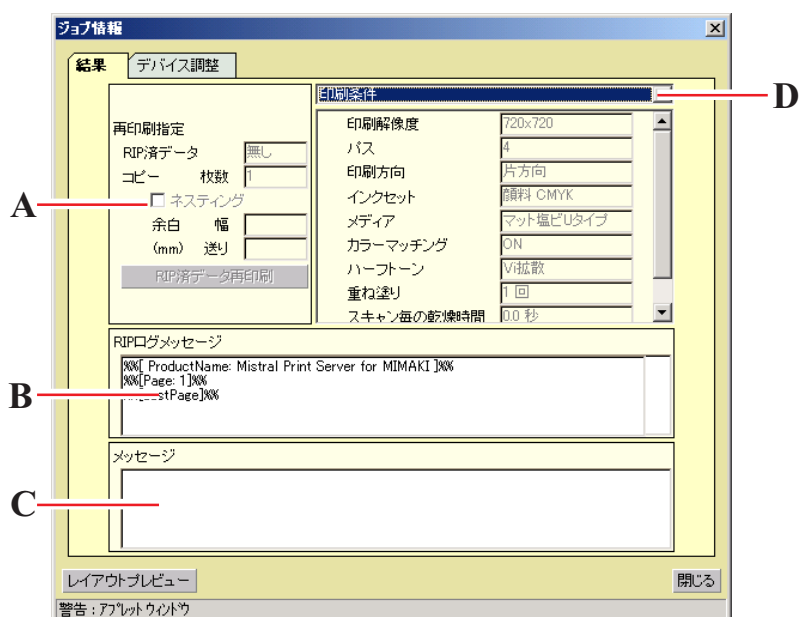


- A. 文章名、ドキュメントサイズ
印刷ファイルの文章名、ドキュメントサイズを表示します。
- B. ターゲットプリンタ、作図範囲
作図するプロッタ、作図範囲を表示します。
- C. エラーメッセージボックス
エラーメッセージを表示します。

“ジョブ情報” ウィンドウ

“ジョブ情報” ウィンドウは、“印刷済み”または“エラー”ジョブリストにあるファイルをダブルクリックすることにより表示することができます。

[結果]メニュー



A. 再印刷指定

一度印刷したデータを再度印刷するための設定を行います。

RIP 済みデータが“有り”の場合、再印刷ができます。

印刷する際にコピー枚数、ネスティング、および余白の設定画が可能です。

RIP 済みデータは、ハードディスクの空き容量に応じて、古い印刷ファイルの RIP 済みデータから削除されます。

RIP 済みデータ再印刷 ボタンをクリックすると印刷を始めます。

(P. 58)

B. RIP ログメッセージ

PostScript データに関するメッセージを表示します。

C. メッセージ

エラーメッセージを表示します。

D. 印刷条件／オリジナルデータ／印刷結果／インク

4 種類の項目について各種データを表示します。

“インク”については、[印刷記録]メニューの“インク消費量”が有効になっている場合に表示します。

印刷条件	
印刷解像度	720x720
バス	4
印刷方向	片方向
インクセット	顔料 CMYK
メディア	マット塩ビUタイプ
カラーマッチング	ON
ハーフトーン	V拡散
重ね塗り	1回
スキャン毎の乾燥時間	0.0秒

印刷情報	
文書名	Dolphin.eps
開始時刻	16:05 2002/10/22
形式	PS
所有者名	Mimaki
プリンタ名	DM2-1810
総ページ	1 ページ
ファイルサイズ	82.28MB
ドキュメントサイズ	540.1 × 540.1 mm

印刷結果	
状態	印刷済
RIP時間	177.4 秒

インク	
インク消費量	ml
シアン	2
マゼンタ	1
イエロー	2
ブラック	1

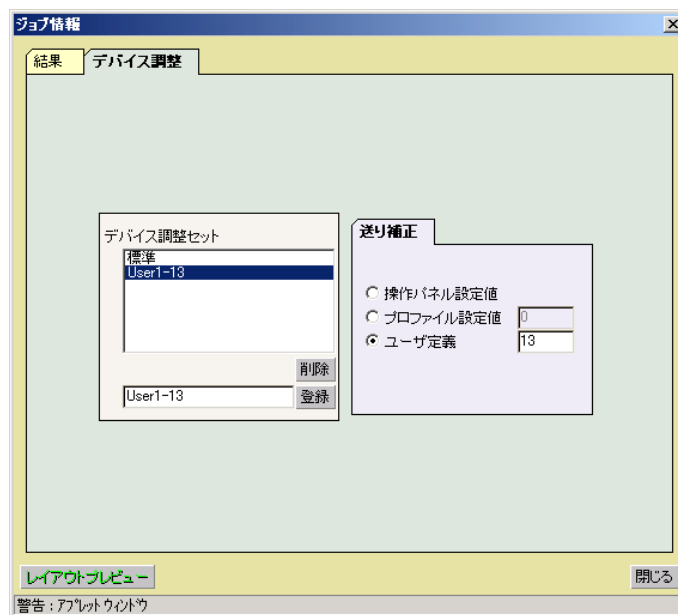
[デバイス調整]メニュー

一度印刷してRIP済みデータが残っている場合は、プリンタ特有の調整機能を変更して再印刷することができます。

DM2-1810では、メディアの送り補正を変更して再印刷できます。

調整値を変更して作図する場合は、デバイス調整セットとして登録してから[結果]メニューの[RIP済みデータ再印刷]ボタンを押します。

詳細は、[デバイス調整]サブメニューをご覧ください。(P. 32)



印刷したデータの再印刷

一度印刷したデータを再度印刷することができます。

再印刷できるデータは、RIP 済みのデータがある場合に限りです。

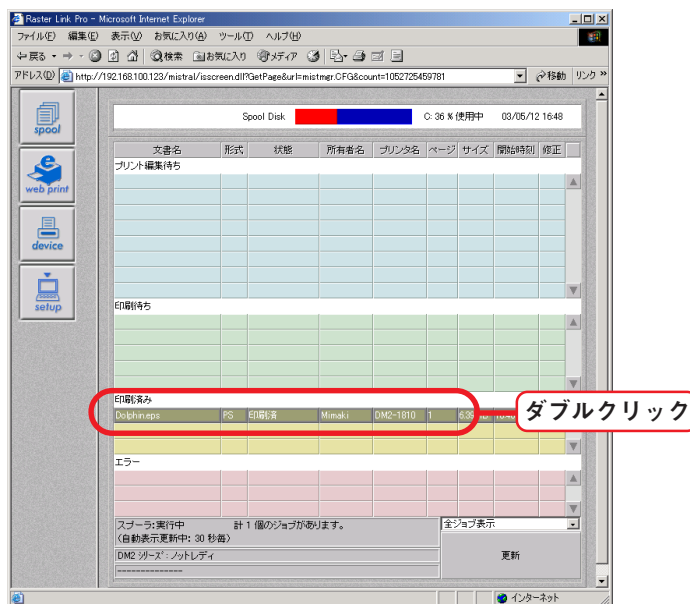
次の場合は、RIP 済みのデータが作成されません。よって、再印刷はできません。

- データ出力方法を“RIPしながら印刷”に設定した場合
- RIP中に中断、またはエラーが発生しRIPを中断した場合



再印刷では、印刷条件等は変更できません。

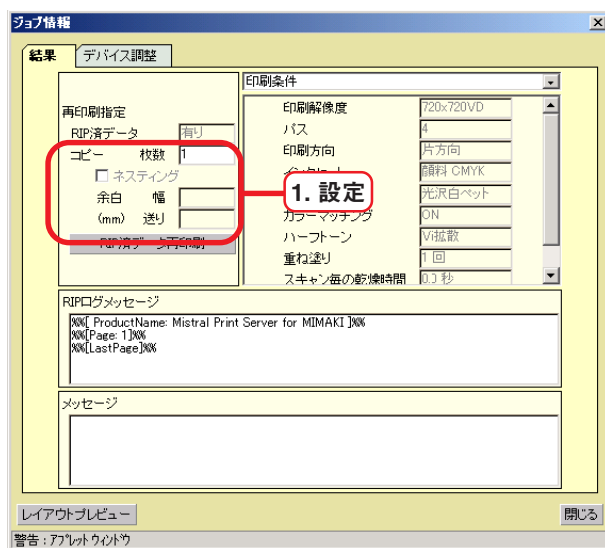
1



“印刷済み”ジョブリストにあるファイルをダブルクリックします。

“ジョブ情報”ウィンドウが開きます。

2



必要に応じてコピー枚数、ネスティング、余白を設定します。

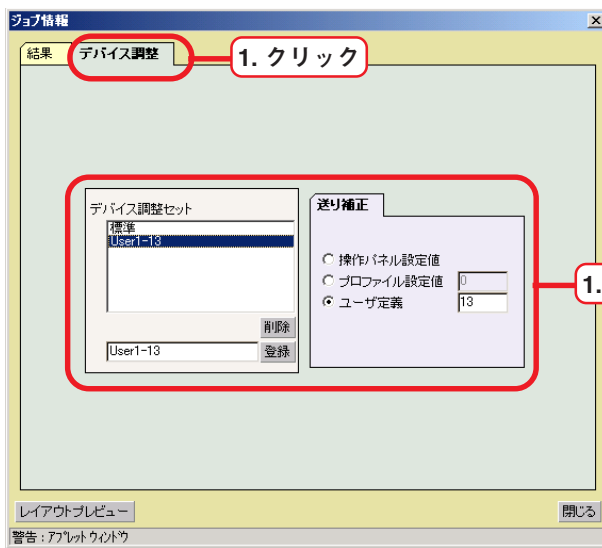
コピーは、1回印刷ごとにワークを交換してください。

ネスティングを設定した場合は、1つのワークに画像をコピーします。

コピー枚数を“2”以上に設定した場合、ネスティングが設定できます。

また、ネスティングを有効にすると、画像と画像の間の余白を設定することができます。

3

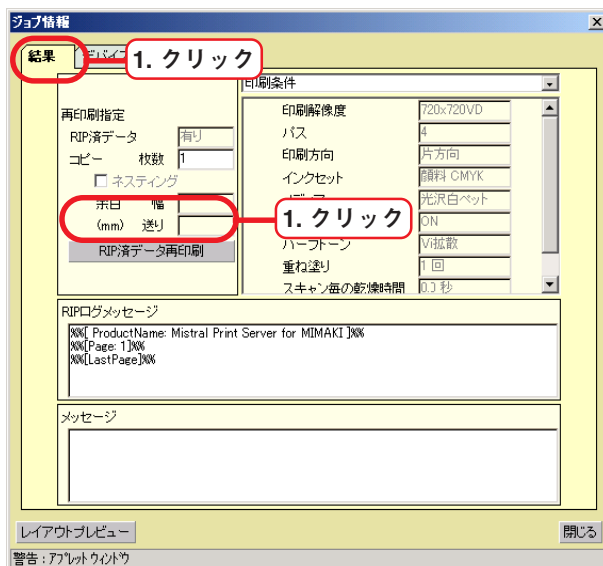


必要に応じて[デバイス調整]メニューを設定します。



★ [デバイス調整]メニューで値を変更した場合は、必ずデバイス調整セットに新規に登録するか上書き保存してください。デバイス調整セットに登録しないで再印刷した場合、値は有効になりません。

4



[結果]メニューをクリックします。

RIP 済データ再印刷 ボタンをクリックします。

印刷を開始します。

device 機能について

device 機能では、印刷条件の初期値を設定します。

device 機能は、接続してあるプリンタによって表示内容が異なります。

device ウィンドウ

プリンタドライバーのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

Raster Link Pro に接続してある機種名を表示します。
(☞ インストールガイド P.118)

プロッタの状態を表示します。

インクの種類を表示します。

インクの残量をグラフと数値で表示します。

印刷条件の初期値を設定します。
(☞ P. 61)

[印刷記録]メニューで“履歴を保存する”を有効にした場合の履歴ファイルを削除します。
(☞ P. 53)

The screenshot shows the Raster Link Pro software interface. On the left, there is a sidebar with icons for 'spool', 'web print', 'device', and 'setup'. The main window displays printer settings for 'プリンタ1'. The '機種' (Model) is 'DM2 ソース' and the '状態' (Status) is 'オフライン'. Below this, there are two ink level tables. The first table, 'インク1割', lists 8 ink types (1-8) with their respective levels (e.g., 100% for Black, Cyan, Magenta, Yellow). The second table, 'インク2割', lists 8 ink types (A-H) with their respective levels (e.g., 100% for Black, Magenta, Cyan, Yellow, and 1% for Black). At the bottom of the settings, there are buttons for 'デフォルト設定' (Default Settings) and '履歴削除' (Delete History). The interface is overlaid on a Microsoft Internet Explorer browser window.

インク1割	レベル	インク2割	レベル
1 ブラック	100%	A ブラック	100%
2 マゼンタ	100%	B マゼンタ	100%
3 シアン	100%	C シアン	100%
4 イエロー	100%	D イエロー	100%
5 ブラック	100%	E ブラック	1%
6 マゼンタ	100%	F マゼンタ	100%
7 シアン	100%	G シアン	100%
8 イエロー	100%	H イエロー	100%

印刷条件の初期値設定

印刷条件の初期値を設定することができます。デフォルト印刷条件設定と印刷記録設定のセットを20個定義できます。

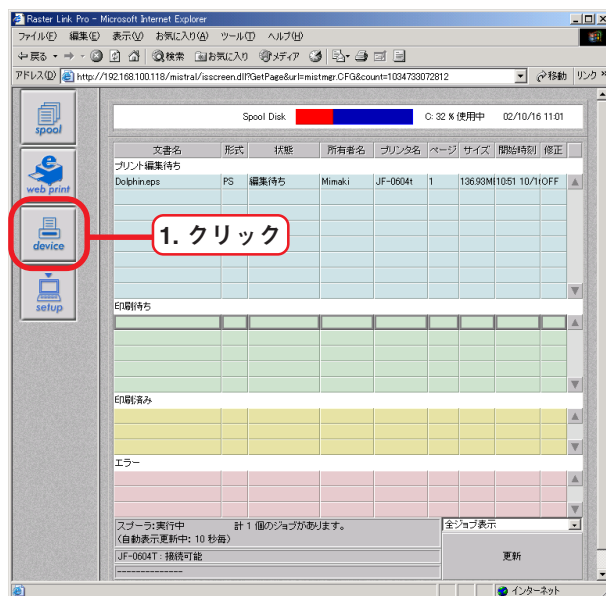
ここで設定する印刷条件番号は、プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

プリンタドライバの印刷条件番号を“デフォルト”に設定している場合、ここで最後に選択した印刷条件番号の内容が使用されます。

また、web print機能、および共有フォルダでの印刷ファイルコピーで印刷した場合も、ここで最後に設定した印刷条件番号の設定が使用されます。

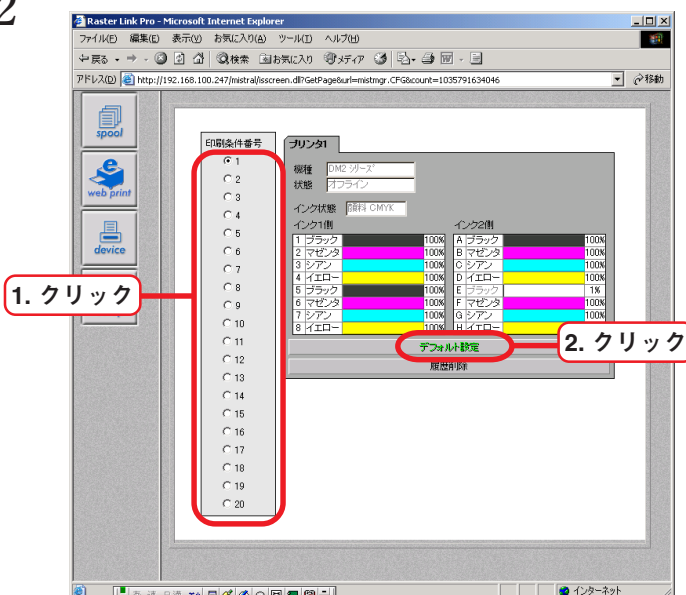
最後に設定した印刷条件番号のラジオボタンが有効になっています。

1



device ボタンをクリックします。

2

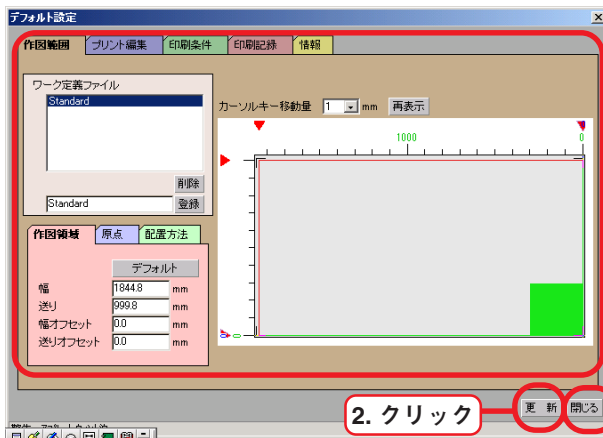


設定したい印刷条件番号をクリックします。

デフォルト設定 ボタンをクリックします。

“デフォルト設定”ウィンドウが表示されます。

3



各種設定を行います。

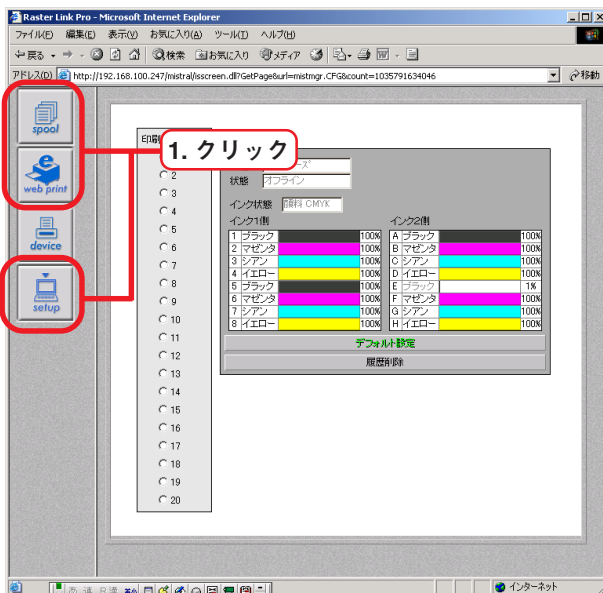
設定内容および設定方法は、“ジョブ設定”ウィンドウと同じです。

1. 設定 **更新** ボタンをクリックします。
デフォルト条件を更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

2. クリック **更新** **閉じる** **3. クリック**

4



device ボタン以外のボタンをクリックします。

ここで選択した印刷条件番号が、プリンタドライバのデフォルト印刷条件番号に対応します。

索引

B

Back Space キー	45
Black 保持	31

C

CMYK 保持	31
---------------	----

D

Delete キー	45
device ボタン	61
device ウィンドウ	60
device 機能について	60
device ウィンドウ	60

H

History フォルダ	53
--------------------	----

I

ICM	30
彩度 (グラフィック):	30
視覚的 (画像)	30
絶対的な色域を維持:	31
相対的な色域を維持:	31

P

PrintRecord.csv	53
-----------------------	----

R

RIP が終わってから印刷	26
RIP しながら印刷	26
Rip 済データ再印刷 ボタン	55, 57, 59
RIP のみ	26
RIP ログメッセージ	55

ア

赤い矩形	13
------------	----

イ

“インク指定” リスト	44
イメージ優先	29
イラスト/イメージ	30
ICM	30
イラスト優先	29

“色調整” ウィンドウ	34
インク	55
インクカーブ	43, 44, 50
- の設定	50
- を調整して印刷	47
インクカーブボタン	28, 48
インク消費係数	53
インク消費量	52
“インクリミット” カーブ	43
インクリミット値	34
[印刷記録] メニュー	52
PrintRecord.csv	53
インク消費係数	53
インク消費量	52
履歴ファイルに保存する	53
印刷結果	55
印刷したデータの再印刷	58
印刷しながらカラー調整	29, 41
イメージ優先	29
イラスト優先	29
印刷条件	55
- の初期値設定	61
印刷条件番号	60, 61
[印刷条件] メニュー	6, 25
[カラーマッチング] サブメニュー	30
イラスト/イメージ	30
カラーマッチング有効	30
入力プロファイル (ICM)	31
[デバイス調整] サブメニュー	32
プロファイル絞り込みメニュー	25
プロファイルリスト	25
印刷中にカラー調整	40
印刷調整セット	28, 47
- 名入力ボックス	28
- を作成する	36
- を使用して印刷する	38
[印刷調整セット] サブメニュー	25, 28
インクカーブボタン	28
印刷しながらカラー調整	29
印刷調整セット	28
印刷調整セット名入力ボックス	28
削除 ボタン	29
登録 ボタン	29
編集 ボタン	29
印刷 ボタン	7

[印刷モード]サブメニュー	25, 26
RIPが終わってから印刷	26
RIPしながら印刷	26
RIPのみ	26
重ね塗り	27
片方向	26
高速印刷	27
スキャン毎の乾燥時間	27
双方向	26

エ

エラーメッセージボックス	54
--------------------	----

オ

青いガイドライン	14
送り	12
送りオフセット	12
送り方向	14, 16
コーナ ボタン	14
コーナ合わせ	16
中央 ボタン	15
中央合わせ	16
送り方向移動	21
送り補正	33
[オプション]サブメニュー	23
回転	23
コピー枚数	23
コピー余白	23
ネスティング	23
ミラー	23
オリジナルデータ	55

カ

カーソルキー移動量	10, 15, 21
回転	23
重ね塗り	27
画像の配置情報	14, 16
画像の配置方法	11
片方向	26
カラー調整	34, 43
[カラーマッチング]サブメニュー	25, 30
カラーマッチング有効	30

キ

キーボードによる画像の移動	22
キーボードによる原点の移動	15
共通ボタン	6, 7
印刷 ボタン	7

更新 ボタン	8
次ページ ボタン	7, 8
閉じる ボタン	8
ファイルプレビュー ボタン	7
前ページ ボタン	7, 8
レイアウトプレビュー ボタン	8

ク

グラフィック	30
“グレーバランス” カーブ	43

ケ

[結果]メニュー	55
RIP ログメッセージ	55
インク	55
印刷結果	55
印刷条件	55
オリジナルデータ	55
再印刷指定	55
メッセージ	55
原点	11, 14, 16
原点ガイド	10
原点ガイドライン	11
[原点]サブメニュー	10
青いガイドライン	14
キーボードによる原点の移動	15
[原点]サブメニュー	14

コ

コーナ ボタン	14
コーナ合わせ	16
更新 ボタン	8, 46
高速印刷	27
コピー	13
コピー枚数	23
-余白	23
コントラスト	35
コントロールポイント	44, 45, 50

サ

再印刷指定	55
最大作図エリア	11
最大作図エリアの先端	11
彩度	30
再表示 ボタン	10, 21
削除 ボタン	9, 29, 32
作図範囲	54
[作図領域]サブメニュー	10, 12

送り	12
送りオフセット	12
作図領域の設定	13
デフォルト ボタン	12
幅	12
幅オフセット	12
作図領域の設定	13
作図領域の端面	11
[作図領域]メニュー	6, 9
カーソルキー移動量	10
[原点]サブメニュー	10
[原点]サブメニュー	14
再表示 ボタン	10
削除 ボタン	9
[作図領域]サブメニュー	10
登録 ボタン	9
[配置方法]サブメニュー	10
プリントエリアビュー	10
ワーク定義ファイル	9
ワーク定義ファイルの削除	19
ワーク定義ファイルの選択	19
ワーク定義ファイルの登録	18
ワーク定義ファイル名入力ボックス	9

シ

次ページ ボタン	7, 8
出力階調	44, 46
[情報]メニュー	6, 54
エラーメッセージボックス	54
作図範囲	54
ターゲットプリンタ	54
ドキュメントサイズ	54
文章名	54
初期原点	11
“ジョブ情報” ウィンドウ	55
[結果]メニュー	55
[デバイス調整]メニュー	57
“ジョブ設定” ウィンドウ	6

ス

スキャン毎の乾燥時間	27
スケール	20
全て表示	46

セ

絶対的な色域を維持	31
前回のカーブを表示	46

ソ

操作パネル設定値	33
相対的な色域を維持	31
双方向	26

タ

ターゲットプリンタ	54
-----------	----

チ

知覚的 (画像)	30
中央 ボタン	14
中央合わせ	16

ツ

追加 ボタン	46
--------	----

テ

テーブル	11
[デバイス調整]サブメニュー	25, 32
送り補正	33
削除 ボタン	32
操作パネル設定値	33
デバイス調整セット	32
デバイス調整セット入力ボックス	32
登録 ボタン	32
プロファイル設定値	33
ユーザー定義	33
デバイス調整セット	32
-入力ボックス	32
[デバイス調整]メニュー	57
デフォルト ボタン	12, 46
デフォルト印刷条件設定	61
デフォルトカーブ	46
デフォルト設定 ボタン	61

ト

登録 ボタン	9, 29, 32
ドキュメントサイズ	54
閉じる ボタン	8

ニ

入力階調	44, 46
入力プロファイル(ICM)	31

ネ

ネスティング	13, 23, 24
-コピーをする際の注意事項	24

ノ

濃度 29

ハ

[配置] サブメニュー 20
送り方向移動 21
カーソルキー移動量 21
再表示 ボタン 21
スケール 20
配置ビュー 21
幅方向移動 21
配置ビュー 21
[配置方法] サブメニュー 10, 16
幅 12
幅オフセット 12
幅方向 14, 16
 コーナ ボタン 14
 コーナ合わせ 16
 中央 ボタン 14
 中央合わせ 16
幅方向移動 21

フ

ファイルプレビュー ボタン 7
プリントエリアビュー 10
 画像の配置方法 11
 原点 11
 原点ガイド 10
 原点ガイドライン 11
 最大作図エリア 11
 最大作図エリアの先端 11
 作図領域の端面 11
 初期原点 11
 テーブル 11
 有効作図エリア 11
[プリント編集]メニュー 6, 20
 [オプション]サブメニュー 23
 キーボードによる画像の移動 22
 [配置] サブメニュー 20
プロファイル絞り込みメニュー 25
プロファイル設定値 33
プロファイルリスト 25
文章名 54

へ

編集 ボタン 29

ホ

補完方法 46, 48
本文中の表記について 4
 マークについて 4

マ

マークについて 4
前のジョブ ボタン 8
前ページ ボタン 7, 8

ミ

ミラー 23

メ

メッセージ 55

モ

元に戻す ボタン 46

ユ

ユーザー定義 33
有効作図エリア 11

リ

履歴ファイルに保存する 53

レ

レイアウトプレビュー ボタン 8

ワ

ワーク定義ファイル 9
 -の削除 19
 -の選択 19
 -の登録 18
 -名入力ボックス 9



D200775-1.40-01072005

Printed in Japan

© 2005 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd. Allright reserved.